

源語梯

自以至於



源語梯辨

源語梯ハ即チ吾蘭洲五井先生ノ著ス所ノ
源語詰ナリ。先生講學ノ暇ニ著述スルコト多シ
又ソノ餘カラ以テ本邦ノ古籍ニ及ビ萬葉古
今勢カ源ニ語等ヲ詮釋編次シテ家ニ藏ル
コト。數部ニ至リ。源語詰モソノ一ツナリ。先生ノ
没スル今ヲ距テ二十餘年余嘗テ遺命ヲ

九龍文庫

受テ其諸編ヲ校訂シ。質疑瑣語非物ノ篇
ナトハ。已ニ梓メ世ニ行ヒタレ。凡ソノ餘カノ撰ニ
テニハイマタ及ハス。近コロニ至リ。或人無名氏ノ
書ヲ得タリトテ。此源語梯ヲ梓行セルヲ。傳
ヘテ閱スレハ。全ク源語詰ニテ。強テ書名ヲ改メ
替テ。何人ニ托セシナリ。サテソノ書ヲ。本書ト
比校スルニ。固ヨリ本書ヲ奇貨トスルヨリ出タル

ナレハ。全クハソノ真ヲ失フベクモアララスシテ。先生
ノ説ヲソノマ、用タルモ多ク。又ハ意ニ任セテ節
略シタルモアリ。敷演シタルモアリ。又本書ノ説ヲ。
或人云トシタルモアリ。或ハ本書ニ有ヲ漏シタル
モアリ。或ハソノ無ヲ補ヒタルモ多ク見ユ。又契沖
並ヒソノ外ノ人ノ説ヲモ。増加セリ。是皆ソノ
人別ニ見トコロアリテ。然ルニ非ス。タ、本書ノ

一、ニテ梓スレハ掠奪ノ恐レアルニヨリ務メテ面目ヲ改換シツ井ニ書名ヲ変スルニモ至リテソノ痕迹ヲ晦ニセルノ狡計也抑先生ノ遺書ヲ吾黨ヨリ妄リニ人ニ傳ヘタルハナキニカク他手ニ落タルハイカニト推究スルニ先生存在ノ日ニ直ニ請求メテ傳寫シタル一人アリソノ本ヲコノ撰者カ子テ轉借シテ寫シ取オキシトナリ又ソノ

刊行ノ書ニハ序モアリ又附言トテ撰述刊行ノ大意ヲ述タルモノアリ各ソノ筆者ノ名称アレトモコレ又ミナ假托ニ出タル名ニテ實ニ手ヲ下シタルハソノ一人ニアリト明カニ聞得タリカ、レハ速ニ官ニ告テ追毀ヲ行フベキモノナレトフレモ温藉ヲ欠テ余ノ欲スル所ニ非スサレハトテ偽本ノ世ニ行ハルヲ手ヲ袖ニシテ旁觀センハ遺編ヲ守

リ居ル余ニ於テハ先生ニ地下ニ辞ナキモノアリ書舗主人ゴノ由ヲ傳聞テ大ニ驚キテ來リ謝シコノ上ハ追毀ニ係ルトモ自カラ甘ニスル所ニテ餘言ナケレバ既ニ官ニ請テ三都ニ布キ初シヲナレハイカヤウニモ是正ヲ經テ存スルヲ得ハ大幸ナルヘシト懇請ス因テ思フニ編中ノ異同ハ毛舉スベカラザレハ今サラ追正ニ及カタケレバ先生ノ源語

ニ裨益スルノ本意ハイマタ失ハス和文ヲ修ムルハニ便リスルモノモ儘ツノ中ニ在テ先生ノ餘事ノ功ニ出ル所ナレハ今ニ於テハサシテ異同ヲ問ス本編ハツノマニ存スルヲ許シ序ト附言トヲ大ニコノ辨ヲ加ヘテ世ニ告ルヲシカリ既カレハ書目名モ旧ニ復シ梯ヲ詰ト改ムベケレバ已ニ本書目ト同カラス又書舗モ名ヲ改ムレハ別書トナルノ患

アリト。サシク陳乞スルユヘ止ヲ得スレテ。ワ、マニテ
行ハシムト云モレコノ編ヲ讀シ人ノ解説ニ十分
ナラヌ所アリ。詳畧ニ宜ヲ失ヘルモ見ユルナト。ヲホヘ
ラレンニハコレ先生ノ真本ニ非サルヲ知ヘキノミ。

天明乙巳之夏

竹山居士識

附言

一 此書何人ノ作ナルヲ詳ニセス。或人市ニ
閱テ購得タル所ナリ。カノ形管ノ妙境ヲ
截斷シテコレガ考ヲ附シ。以呂波四十餘
言ニ詞ノカシラヲソロヘ。虚辞天地器財
ナド。十バカリニ類ヲ分チシハ見ニ人ヲシ
テサトスノニカ。其文カ、ニ時ノソナヘニセント



ナルベシ世ニ此物語ノ抄物トモスクナカラ
 ズトイヘ氏猶カ、ルオモ、キナルハニエヌニヤ
 書肆ノ某梓行セニヲホリシ予ニ就テ
 コレガ校正セニヲ乞フ予此物語ニ於テ
 深ク思ラ致シ別ニ闡ク所アルニアラザレドモ
 假字差ヒ詞ノ重出考ノイブカシキナド
 ヒトワタリ刪正セザルベシヤハゴレ紫氏ノ

堂ニ弁ラズシテ斯ニ従事スルナドノ譏ミデ
 ニモオヨバサレハ諾スベシヤハゴレ紫氏ノ
 一此書ノ考ヲ見ルニ自己ノ意ヲ專トシテ
 舊説ニ因循セルニアラズヒトリ契冲師
 ノ考ヲタフトミテ湖月抄ナドハトリ用ヒ
 ザル下意見見エタリシカハアレドコトソギタル
 異義臆見コノメルニアラズ簡ニレテ要ア

ラシヲラム子トシテ。某ハ某ノ事ナト。里
 言モテ。コトワルサ。イト聞取ヤスウテヨシ
 一 此書題シテ梯ト云モノ。卷々ニス。マニ
 梯ナルヲモチロニナリ。但コヲ目案ハ
 印ニ似タリトイフ人アラニハレカラズ。ソハ
 源語ヲヨム為ニソナヘコハヨミサル人ノ為ニ
 エラヘリ。サレバ世ニ源語ヨミズシテ。ヨニタルカ

ホモチナル人モアルベシ。サルハ輕薄兒ノ所為
 ニシテ厭フベシトイヘ。其ノ胸中固雅馴
 タルヲ庶幾スルニアラズ。ハイカテサル事
 ラノ、シラニカ、ル人等ノコノ梯ヨリ攀ニ。
 漸ニ卷々ノ佳境ニ入ルヲ。ヤカテ作者ノ
 微意ナラニカモシラズ
 一 余方技ヲ業トスレバ。此事ニ與ラサルヲ可ト

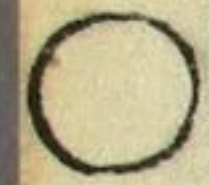
スベケレド、所謂國津、鬼ノヤムヲ得サル

ニヨテ、レカスルヲ、人幸ニ罪セザレ

浪華黃備園主人識

凡例

虚詞	トアル下ニ、物語中ノ言語并ニ人ノ為事ヲ形容セル詞等ヲ出セリス。テ此下ニ收ルモノ多ケレバ、每部ノ首ニオケリ
人事	トアル下ニ、天ニアル日月風雨地ニアル山川水石家居宮殿神佛ノ事、春秋ノ時節等ノ詞ヲ收メタリ
天地	トアル下ニ、君臣父子夫婦朋友官爵等、人ノタケヒ并ニ頭面手足等、容貌ニカ、リタルモノヲ收ム
時候	トアル下ニ、草木花実并鳥獸蟲魚ノタケヒヲ收ム
人倫	トアル下ニ、衣服冠履ノ類、飲食ノ品、并ニ器財
支體	寶貨ノタケヒヲ收メタリ
生植	已上分ツ所ノ五目、ミナ物語ノ中ニノスルモノヲトリテ、各其詞ノ上下ヲ截断テ其用例ヲシテ、レム〇スベテ物語
氣形	
服食	
器財	



源語梯附四

ノ詞ツカヒハ前卷ニ出タルヲ舉テ。後ノ卷々ニ出タルハ略セリ。
タトハバハト云詞。桐壺ノ卷ニ出タルヲ以テ注シ。末々ノ卷ニ
出タルヲ尺クアゲス。但同シ詞ニテモツカヒ方ノ異ナルハ間コレ
ヲ舉テ注セリ。見ル人重出ト思フベカラズ。又詞ノ舉テ注ス
ベクオモヘルモノ。脱落セルゾ多カルヘキ。コレヲハ他日ツノ拾
遺ヲ纂テ補フベシ。凡卷々ノ名ハ一字ニ省略シテシル
セリ。桐壺ハ相。帚木ハ帚。ナルヲ知ルベシ。○ステノ詞
ハ以呂波ノ四十餘言ニ配シテ収タリ。但シカハハハハを
ハハハニ収ム。コレヤスカラシカ為ナリ。シカレハ其假字
ニ於テハ咸クコレヲ正シテ毫モ差フナシ。其他ハ推テ
知ルベシ。○此凡例ハ本書ニテキ所ナリ。目錄モ本書ヲ割截前却シテ
サレテ本意ニ背クモノヲ讀人ニ便ス。ハツミニ存ス。但末ノ一條契沖
ノ事ヲ載タルハ蛇足ニハ削リ去ト云。

居士再識

源語梯上自以

いカ並ニ牧

虚詞 人事 **いら** 相御イラヘモエキコエ玉ハス **いかめし**

イトイカメシウ其サホウシタルニトアリ。日本紀ニ嚴メ
重ノ字ヲイカシトヨメリキツトシタルナリ

いみし 此詞一ツ々ニ出ツ。忌ツシミ恐ル、コ
ヨリ出タル詞ニテ。物ノ甚ク又嚴クニイリ

いはた 今ハタカマ世ノ中ノコトヲモ思
システタルトアリ。今果シテ **いたう**

此詞モ多ク出タリ。日本紀ニ最ノ字ヲイト、ヨメル正多ナリ。
万葉ニ甚ノ字。痛ノ字ヲ用ヒシハ假字ナリ。イトハ事ノ

①

頂上ニ至リタルシイタウハ事ノ頂上ヨリ過タルシイタクモアリ
又イトハイトトクナリイトトシクモイヘリ專ノ字ヲ文選ヨマセタリ

いわけなるイワケナキ人モイカニトオモヒヤリツトアリ幼稚ノ人ヲ云シ幼稚ナル時ハモ

ノワキフヘナキモノナレバイワケナキトイヘリイハテたづく
イハテ語ノ詞シ日本紀ノ驚駭トアルト別シイハテ

オフナクオボシイタツクトアリオボシイ病ヲイタツキト云フ
ハ痛付シ又日本紀ニイタツクトモヨリイタツク大事ニ思フ

おだち 居ツ立いで居ツ立テモノヲ知フ意シ俗ニドレイカフ

カナドイフドレノキミシイデヤ いまめかしくカナドイフメツ
ト云ハイテラツクイフナリ

目ノ義目前ノ意ナレハ今ヤウノ意カ いでむえ目ノ義ナスワザ
ノ見所

アルナリハエハ常ニ業ノ字ヲヨメリ又 我タケ
映ノ字ヲモ用フベシ出立ノ其所ニ映シ映シクイヒツ

シ侍ルニトアリ注ニツヨクイヒスゴスシ注ニツ詩ニ愁殺惱殺ノ殺ノ
如シトイヘリツヨク殺ノ畧ナリ万葉ニ殺殺トヨメルアリ今モ身ヲソ

グ如クナドモノノキビ いひあらひグ如クナドナドイヒシラヒ侍シガ
シキニイヘルフアリ

ト云意シトアリ日本紀ニ有意ノ字ヲコロシフヒ いたづら
トヨニ又通ノ字ヲシラヒトヨメシバダガヒノ意モアラフ

ぶし 君ハトケテモ子ラズイタツラフシトオボサルニトアリ
万葉ニ無用ノ字ヲイタツラトヨメリ無用ナル独寐

スルゾト オボスシ いらのぶたスルゾト人タガヘニコツ侍ルメレト云モイキ
オボスシノシタナリトアリオボスシ色々テス云シ

いざなたるイトイギイギタナイギタナイギタナケル夜カナトアリ
ヨク寐タル夜カナト云フイギタナ

①

キハ子ゴいだにぬらまじす 心トケタルイタニキナリ

トスルニ寐 ラレヌナリ いむことろけなどして

負カシラソリイムコウケナドレテトアリ 戒ラサツカルコシイムコトハ戒ヲ云 いきこのつ

たまひて 息ヲ延ルし心 いたし

かし 紫彼国ノ前ノ守シボチノムスメカシヅキタルイヘイ

漢ノ食貨志ニ痛ノ字甚ト訓シ万葉ニモ甚いざか 去来くし事ヲ起ス詞ニテ

し サツフキミシカシハツタル字 いとなし イトマナレシ

いざたま イザタマヘヨジカシキエナド多クトアリザア

いとま 御出アレヨト人ヲサツフ辞ナリ

いとま 未心フカキカタノ御イドマシ

いとま 注ニ挑也アソフ

いとま サニトアリ

いとま 注ニ挑也アソフ

いとま 注ニ挑也アソフ

①

意ニテ何千何百變、いぶせさ、イブセサツフルヨヒノ雨カ
ナトヨメリ、注ニ心モトナ

ト云フガ如シ、サレ、イヘリ、万葉ニ、鬱悒ノ字ラ、いなひぬ人ニイナ
トオモヒ

オボツカナキ、ヒイブセ、イサトキ、心スル夜ノサマナリト
サマシ、キラヌ、イザトキ、心スル夜ノサマナリト
サマシ

ナリ、日本紀ニ長服ヲ、いひ志らイトサムゲナル女
房、白キ衣ノイヒ、

ナガイトヨメルモイヌル、いひ志らイトサムゲナル女
房、白キ衣ノイヒ、

シラスス、ケタルトアリ、ユモ、いりあや賀クハマタナキ
フツウクニタル入

イハレストイフニ同シ、アヤノナド、アリ、舞ニアル、ハテ、更ニ取テカヘレテ面白シ舞、
いたはりの

ぞみ葵ノイタハリハ、
官ニ居ルヲ久シキ、
勞ナリ、但功又積、
ノ字ラ日

本紀ニイタハリトヨメリ、シカラハ功ヲマウシタテ、昇進ヲモトメ、
ノゾムナラシ、
勞ヒラモ通ズ、
いつく志

子最重ナルナリ、
イツクハ思フ、
尽スノ後トイヘリ、
いであ

らイテハ、
左様ノ、
ニアラストイフ、
ト

アノ、注ス、
契沖云、
此ヤ、
アリヤ、
アラスヤトイフ、
ヤニ

故ハアリヤ、アズヤトハ疑ヒテトフ詞ナリ、是ハ源氏ノ君ノ葵上ヲナクサメ玉ヘルニ、
詔ケタリ、
其ノイテ、
サニハ、
アラストイヘル

コトハナレハナリ、カクイヒテエコ、ロユヌ人ハ咄哉非トヤライテ、
下ヘウツス

ベレト云、い、か神、
掩韻ト書リ、
フミツ

スサビワサトモトアリ、古集ノ詩ノ韻字ラ、イ、ちフタキテ、
何ノ字ト、
推シテ、
勝負ヲスル、
い、
ち、
は、
也

く **神** 后ノ御心イチハヤクテトアリ。又イチハヤキ世トモアリ。
 嚴忌ノ字ヲ日本紀ニイチハヤレトヨメリ。イチハイツキノ
 美ニテタハレク少モ用務ナクタル。弘徽殿ノ源氏ヲニクニテハ
 ラタハレキサマヲイヘリ。ムベテモノゴノスミヤカナルヨリ轉レテ伊
 勢物語ナドイチハヤキミヤビラナシ。 **い** **へ** **ば** **え** **に** **ハ** **エ**
 レケルトアルモ事ノサトキヲイヘル。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 ニカナレウオモヘルサマヲトアリ。契沖云。エトイフハ浅キヲイヘリ。
 下ニエナラズ思フ心ヲトヨメルモ不浅下ニ思フ。然レハ深ク思フ
 7モ浅クナリテイハレヌラ。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 イハエニトイヘリト云。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 ケレバニアリ。注ニ **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 トリアカヒト云。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 ルカタハラメトアリ。井ザリトハ膝行ト書テ。静ニ **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 ソロクト出ル。必レモハ井ザルコレヌケクニ非ス。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**

雲 **イ** **ビ** **キ** **ト** **カ** **キ** **ハ** **レ** **ラ** **ヌ** **オ** **ト** **ス** **レ** **バ**
 トアリ。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 ラジト思ヒレヅミ玉ヘルトアリ。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 生テハアラジト思ヒキムル。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 字ヲヨメリ。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 機ノ美トイヘリ。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 諸藝ニ達シタル。前ノ **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 ニクキイウソクドモニテトアリ。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
い **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 ヲハキヒレクモヤハラバニモイフヲバ。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 カクイヘリ。モトヨリ **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 幸日本紀ニ勤ノ字ヲヨメリ。イサホレキノサホラ。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**
 反セハソレツトムベキヲイサニテツトムル。功字モヨ。 **い** **ハ** **エ** **ニ** **ト** **イ** **ヘ** **リ** **ト** **云**

イ

やしき

榎ウヤノシキコハ文ノサマシ正レク
カキテタハフレガマレクナキライヘルナリ

そぎまどはーい アハテマ ーい キ キ キ

菜契冲云ツレク草ニイヘルモ腹タチタルニアレハ河海

ニイカレルスガタトアルニヨルベシ胸ノホドハレル故息ノニニカ

クナレハ息ヲ巻ト も し イ モ 井 ト 書 ガ ラ ズ 日 本 紀 ニ

イフナルヘルト云く 齋 食 ヲ イ ニ ヒ ト ヨ メ リ ビ ハ

イヒノ羨食ニニトモハ い と ま い る わ さ ハ ル 事

相通ナリ精進スルヲ云 俗 ニ 云 テ キ バ エ ノ セ 又 ナ リ

ナ い て き え ー て オ モ シ ロ キ 景 色 ノ 写 ニ テ

ハ哥モ出滞シテ 日 本 紀 ニ 驚 駭 ノ 字 又

ヨカラズトナリ 喘 息 ノ 字 ヲ イ ワ ケ ト ヨ

メリスベテオトロクフニ喘息モオド い さ め ぐ ら ふ

ロク時ハ必ス息ノ喘モノナレバヘルニヤ い さ め ぐ ら ふ

紅イキラ世ニメグリ居ルニシタラベキ人ヲサキニ い さ め ぐ ら ふ

タテク跡ニユリア生メグルトイヘルナリ い さ め ぐ ら ふ

橋イデト云フ詞前ニ出タリ但契冲云ヨレハイデソレラタマヘナト

イフ意ナレバ少ルカハルベキ歎咄哉ライテヤトヨム考ベシト云ク

猶前ニモ い つ の な に が し イ ツ ク ノ ナ ニ ガ レ モ 猶

出タリ ウ レ ロ メ タ キ ヲ ト ナ リ

五障トテ女ニハ五ノサリアルヲソレサハリトイハズシテ

ナニガレトイヘル余情タダヒナレ 案 此 詞 句 ニ 出 タ リ 前 後 又 シ

かたぐめ

東 伊 賀 專 ト 書 岷 江 入 楚 ニ 伊 賀 伊 勢 ノ

ナリ 一 説 ニ 專 ハ 狐 ヲ 云 ト イ ヘル モ 媒 ガ 人 ヲ タ ブ ラ カ ス ヲ ヨ ソ ヘ テ

イヘルナリ媒スルモノソラフスルハ古ヨリアル 一 契 注 戦 國 策 ヲ 引

イ

いま、かり 今マサリシテカラヌナメリト、オボレテトアリ。ヤハリ今云新参ニ

かきささまなり 羽目タケキ補 い、わけ 火取

トイカケ玉フトアリ。火取ノ取ヲ、カケル。イハ発語ノ詞ナリ。いざい、め 氣觸ノ義ナルベシ。穢ニ觸ル

いざい、め 假初ノ義。イハ発語。サハ狭小ノ義。イサカト相ト、云俗言ノ如シ。サノ字濁ルベシ。イサカト相

通フ。い、ます 在又坐ノ字。シイマス。トヨメリ。今イヨ

詞。い、ます リ出ル詞ナリ。又イマス。カラフヤトモアリ。ラフノ及ル。注ニマシマス。トノ義トセリ

天地 時候 いよのゆげた 蝉イヨノユゲタモ冬トシカ

ニイフ。六花集ニ。伊豫ノ湯ノユゲタ。数ハ左リハツ 右ハ九ツ中ハ十六トヨメリ。スベテ三十三アリトイヘリ おなの

いへだつ志ばがる 井ノカハ田舎トカキテ。今ザイシヨ

百姓ノ家ニアルヤウ トイフガ如シ。田中ノ畧トイヘリ。 いぬる 紫イヌルハ云ル

ナ紫垣ト云フ 契沖云ヨノ字ア いたぶる 蓬板草ハ

リ音ナルレ。下、十ヨ年ニヤナリ、 侍リヌラントアルヲオモフベシト云 いける 骨ニツコリ

テトアリ。骨トハ板ニテフケルヤ子ノ コマヒシ云。アリタル家ノサマナリ いける 志やうと

イケル。浄土ノカザリオト。ズストアリ。イケルト云ハ。今ノ俗ニイキウ ワレナドイヘルイキルニテ。マコトノ浄土ナドイフガ如シ。音ニイケ

ル。仏ノミクニモアリ。ウツホ物語ニ。 イサハラ井ハ いさら イサハラ井ハ

イキテハタラクホトケイヘリ。 イさら ヤクノモワス

いさら イサハラ井ハ

いさら イサハラ井ハ

源語様上モ

レシヲトアリ。ヤクハ前放ノフテ。志レビハ志ルマヅキ。イサヲ井ハ
小井ト注ス。契沖云。日本紀ニ潦水ヲイサラニツトヨリ。六帖ノ
哥ニ。我門ノイサラ。小川ノマレ水ノマレテゾ思フ。君独リ。六。潦。和
名抄ニ。ニハタツミトヨミテ。雨後ニハカニタマリテ。レバアル水ナリ。
然レハ。マレミツハ真清水ニハアラズ。増水シヨリテ。殊ニマレテゾ思
フトハツケケタリ。レカレハイサラ井モ潦井ニテ。モトハ水ノスクナ
キガ。雨ヲ便リニテマサリ。いりもみするかせ。野
ナドスルヲイフナルベシ。いりもみするかせ。道
スガライリモミスル風トアリ。風ノいりもみするかせ。相
ハケレキサト注ス。義未詳。いりもみするかせ。相
書ニ。五ノニ字ヲイト一言ニヨメリ。イントヨムハ。いりもみするかせ。相
後世ノフシ。零ニ。サツキイツカニコソイカニハタルトアリ。いりもみするかせ。相
井トアリ。オトハ殿シイテ井。いりもみするかせ。相
ハオモテムキノ一問ナルベシ。いりもみするかせ。相

栗 岩ホヨリケ。ナビキガタキハトアリ。ツレナキシイハトテ。無情
岩ホヨリハマサリテトイヘルシ。ケニ。勝ノ字。委シハ下ニイヘリ。此
岩ホトハツレナキフシイヘルナレハ。虚称ノ事ノ下ニコソハ。いりもみするかせ。相
ルヘキラコ。ニアルハ。岩ホノ字ニヨリテ。此書此類ノ多シ。いりもみするかせ。相
のくらさみち。法真途ニオ。いりもみするかせ。相
習世ノ中ノ所モ何氏思ヒ侍ラス。タノコノ殿ヲタノミ聞エナトアリ。
一。所ハ。摂政。関白ノ家ヲイヘリ。サウウノ所ヨリモ。偏ニ此殿ヲ思フ。いりもみするかせ。相
人倫。いりもみするかせ。相
支体。いりもみするかせ。相
どけ。未。井。タケハ。タカウラゼナカニ見エ玉フトアリ。いりもみするかせ。相
ナリ。紅。良家ノ子ハ。良家トハ。摂政以下上臈ノ家。いりもみするかせ。相
のこ。ナリ。紫。ニ。ヤゴトナキ家ノ子モトモイヘリ。いりもみするかせ。相

イ

源語様上八

つらびと ナサスラヒ シ人ナリ イちめ 玉アヤシキ市女ア
又京ハオツカラヒロキ シナレバ市女ナドヤウノモノイトヨクモトマ
井テクトアリ市女ナドハ方ト高ニアリク故宮仕ナドスルモノ
ヲ能ラ聞ツケテナカダチスルモノ多シ
トシ今テノスアヒナドナルベシ井テクハ持来シ ヒキ井テクハ

槇 イツキムスメヤウニテモノシ玉ハトアリイツキムスメハ深閑
ノ内ニヒメオキテ大切ニモテナス 前ノ 海鑿ニカイリウケラフナ
ルベキイツキムスメナリ ヒイヘルハ
明石入道ガムスメヲ大切ニシラ 朝ル いら づ たる か

ほ 橋サムゲニイラ ギタル顔シテモテマ井ルトアリ
注ニ寒キ時鳥肌立ヲ云シ 其 の ニ 鶏 皮 ト 云 是 シ

生植 ナ瓜ニアタリ アイバユヌベケレバトアリ
氣形 いばえ イハ馬声ノニ ウラ イノ 一言 ニ 万葉 ニ ヨシ

レハイボエノ茂ルベシ常ニイバフ 云ハア イリ シ 嘶
字ヲヨミテコハ胡馬嘶 北 風 ト 句 ヲ 以 テ カ ケ リ い い ふ 志

夏近キ川ノイレブレトアリ賀茂川ナドヲイヘルナルベシ
和名抄ニ鯉ヲイレブレトヨセ性沈伏而在石間者ト注ス

服食 相東向ニイレタテ リ 倚子 い ま や
器財 ト 書 今 椅 子 ト 云 天 子 ノ 御 座 シ

う 末紅梅色ノコキヲ云 ト 注ス衣ノ色ナリ い よ す
栢イヨスカケ
ワタレテニビ

色ノ几帳ノ衣ガシタルトアリ伊豫簾ハ芦簾ニ喪中共 い る な り と か い

ふ 推イロナリトカイフ ヒ ス イ ダ チ テ
チテイトラカレゲニイトラ

ヨリカケタルヤウナリトアリ契冲云イロナリハルリイロヲ書ア
ヤミルニヤヒスイハソビトテルリ色ニ見ユル鳥ナリ俗ニハカセウ

①

ヒトイフト云く▲イロヲ器ノ名トスル此作者ノ一説
アレ氏未詳バコレヲ刪ス但此部ニ入ルモノハ後考ヲ待
あふぞ習今メキタルカタチニ髪ハ五重ノ扇ヲヒロケ
冬ノ扇ナリト云ヘリサゲアニ
サニヲ形容レテ云ナルベシ

ろ

人事

ろなる

菓トヤカク論ニルナキハ論
ノ字今音ニテ論トイフガ如シ

器財

ろくのみからひつ

相食物ヲ
入ル器ナリ

は

虚詞
人事

はーたなき

相イトハレタナキコト多カレド
注ニハレタナキハヨワキ

モノニツヨクアタル心シトアリ契注云此注カナス枕草子ニハレタ
ナキモノトイフ下ノヒトツニ人ヲヨブニ我カトテサレ出タルモノニレテ
モノクルヲリナドカケリ是ニテ心付ヘテ竹取物語ニ宮ハタツモ
ハレタ井ルモハレタニテ井タヘリトイフニ同レゾレニ付テフタツノ意
アルベシ大気ナルヲオホケナキ荒キヲアラケナレトイフ類ナレバ
ナレハ詞ニテ無ノ字ノ意ナラ子バハレタナキモ只ハレタ歎又シタ
ノナレト云義ナラバゾレニテモ同シ意ニ其故ハハレタハ半ニ同レ
タハハナルモノヲ五ツアリテ五ツノナキヲハレタナレト云ベケレハ
はかなく 其年ノ夏ニヤス所ハカナキコトニワツラヒテ
マカデナシトレ玉フトアリハカナキト云コトハ所
ニヨリテ其意カハレルヤウナレドハカトハハカリハカラフノ略ナキハガタ
キノ意ニテハカラヒガタキノ義ニダトハハ當歳見ニレテ死スルアレバ

①

源語梯上

ハナノ老翁ニテ堅固ナルアルガ如キヲサシテ。ハカナキ命トイヘルコト
 人命ノハカラヒガタキヲ云ナリ。ス。テハカナキト訓。此後ヲ推テ考ベレ
 はた 野分ダチテハカニハタサムキ夕暮ノホド、アリ。暇寒
 将ノ字。又當ノ字ヲヨミセテ。一サニト云フ意ナリ。万葉ニ為當也ノ
 三字ヲ。バヤト訓ゼリ。其本ハ果ト云ヨリ轉ジ。ハ取語トシモアリ
 はなや ハゲニソノニホヒサヘハナヤカニタチソヘルモスベナ
 ラズ。森ヲクヒタル其臭ノ ばやう ハヤウマダ下臈ニ
 ハツキリトキユルナリ 侍リシ時トアリ。昔
 又ハ、ヘカタナド ばー 夕、ウハベバカリク
 イヘルホドノナリ ナサケニテハシリガ
 キトアリ。筆バヤニ事ヲ得タル其 ばひま たる
 ニモノヲカクナリ。又ハ草ヲカクヲモ云

貞イデニトテハ七ワタルウ名ハシタツモ、ハツモ、ハチカ、
 ケニテハカヨヒハルトアリ。ハヒワタルハ来ルハモ、ハチカ、
 やかん カハハユクテ恥 ばひま たる
 コ、ハ夜ノアクルヲイヘリ。今 ばひま たる
 俗語ニムザウサニトイフガ如シ ばひま たる
 カ、ル道ノ空ニテハフレ又ベキニヤアラシ。又 際ワカ君ヲサルモ
 ノ、ナカニハアラカシ奉リテハトアリ。注ニイタツラニナルヤウナ
 意トイヘリ。契注ハフレハ。此物ガタリニ多キ詞ナリ。アフレ
 アリ。日本紀ニ溢ノ字ヲ用ヒ。古事記ニハ波布理ト假字ニ
 カ、レタリ。孟津ニ放埒トアルハ音ニテハウラツニテ。常ニモ云フ
 詞ナリ。ハフレトハ大ニ違ヘリ。ソレニツキイタツラニナルヤウナル
 意ナリトアルハ。俗ニ好色ナドニ放埒ナルヲイタツラモイ
 イフ。其意カコ、ニテイタツラニナルトイハ、此上ニカクハカタク

(ハ)

テワレモイタツラニナリヌルナメリトオボストアル如クムナミ
ク死スル意ナリ更ニ不叶ト云々案ニハフレト云詞大底ナゲハ
ルコヲイヘリ玉我君ヲサルモ、
ナカニハフカレ奉トアルモステ放、
御ハナチガキナニ猶ミ玉ヘマホレトアリ。注ニ文字ヲツグケ
テ字ツ、カクナリ小兒ノモノカクヲイヘリト。只トリジマヲ又
カキサマヲイヘ
ルナルベレ

はづーてん トリニガ
スナリ け

た 未ムスメニヤ孫ニヤハシタナル女ト はら

賀 拍子ナリ琴ニテ笛ノ拍子ヲトルナリ。 はな

やぎたよふ 種ハナヤカニヨ はなす、
ソホレ玉フ

アさちーて 明入道例ノ後夜ヨリフカウ
オキテハナス、リオシテ。行ヒ井

マシタリトナリ又悲ニ泣 松ヒゲカウニツナレニク
キカホヲ鼻ナトアカスツ はなふとあかめ

つ、はちぶさ、いへ、 ハチブキイヘバトアリ。イヤニ思フサマナリ。契云東坡モ虎ヲ
手ウチニスルモノモ蜂ヲバ吹トイヘリ。蜂ノ身ニ近ツク時ハウ

ソブキテ拂フ習ナリ。諺ニ預カレバナカラノ又レト云ヤウニ。
年ゴロ田畠ナドモ。己ガモノハヤウニ思ヒラレル故ニ修理シ

テ移リスマントイフヲサマニヨカルマジキヨシニ は

イヒナレテキラフ心ニイフヲ蜂ブクトイヘリト云 は

て 乙喪ノ終ヲイヘリ。 はかなたちて 玉此
ハ手

ハ

跡ヨカラ ばらぎたなる 〔堂マ、ハ、ハ、ハ〕

トアリ。サモレキ心底ナルヲ云ナリ。 〔夏イ〕

ハユルトアリ。延ノ字ヲ書 〔種〕 ウチハエトアリ。契

トモカケリ。又シク引シロフシエト。此假字ウチハハ 〔ハ〕

ラントイフニヤト。又 〔蟬〕 スキタルモノキタルハバウソクニオボユル

出タリ。考スベシ

トアリ。注ニ傍側ナリ。モノクシカラヌスカ

天地 時候 ばーどみ 〔貞〕 正ヨリオロスレドニ

見エタリ。半部ト書テ。部和名抄竹部ニ 〔ハ〕 ーガ

作レリ。日本紀ニ障子ヲレドニトヨリ 〔未〕 ハレカクシノモトノ紅梅トアリ。

かよさーい でたるゆふづくよ 〔車〕 ラヒキイル、トコロナリ。

柳 月ノアキラカニ出タルヲイヘリ。夕月夜ハ 〔梅〕 此ノレニテニハ源氏ノ居所トシ、ハナチ出ハ紫

ちで 〔東〕 東雅云

タテ出シタル殿ナルベシ。諸注ニ 〔東〕 東雅云

ハ

ヤトト云コレナリ。ハトハ端ナリ。旧説ニハヤトハ山ノ淺キナリト云フ。是山ニ入ルノ深カラヌノ義也。ヤトハトハ異ナリ。ヤトハ山ノ末

人倫 ばう 相坊サダマリトアリ。 はかせ 博士

支体 太子ヲ立ラフルナリ ト書テ学者ヲ云。職員令ニ博士一人。ばう。ばう。病

者 堂教授経業課試学生トアリ 未コダイノヲバキニノ御ナリニテハ

ナリ 玉ハレハマユケサヤカニナリタルモウツクシクキヨフナリ はな

志るめ トアリ。齒ヲ添テ後ボウ眉ノ常ノマユニナルトイヘリ 顔色ノ青ガ

メタルナドヲ 宴サテノ人ハハニオクテハナジロメルオホ 泣カレシ

はなのごち 泣ニ入ナリ。此ノ詞多ク見ユ はな

おしる 乙 擗ニ今ノ世ニモ人ヲサニスレトサ

注ニ鼻オゴメカレナドスルシトアリ ラヌケマニモテテレ。ワキノ人ニメクハセナ

色 色メキテア

生植 ダナル心ヲイヘリ はらから 葉兄弟ナリゴハ はは

のとり 契云万葉ニ春鳥ト書テウグ はこ

とり 深山林ニ子クラサダムルハゴドリモイカテカ花ノ色

ハ

ヨクモアラヌ鳥ナルベレ。契云。果鳥ハ万葉第十二カホトリト
ヨイリアサガホヲ朝果トカケリ。果ハ音カウナルヲ借テ用シ
タリ。万葉ニカホトリハ第三ニハ容鳥。第六ニハ貌鳥。第十二
ハ果鳥。又容鳥ハカキ。第十七ニハ可保等利トカケリ。然レハ河
海ニ果鳥ヲゴドリトシ玉ルハ誤ナリ。又万葉ニ箱鳥トカケル
ヨレレルサルレハ万葉ニ箱鳥ナレ。又六帖第六ニ箱鳥ノ次ニ別
ニ容鳥ヲ出シタレバ。 〔露花ヤ
蝶ヤトカ はなやてふや

クハコソアラメトアリ。是ハ文ノ体ヲイヘリ。凡流メカシテ花
ノ蝶ノト詞ヲ艶ニカケハセストイヘルナリ。契注ニ枕草子ニ
三十人ノ花ヤ蝶ヤトイソグ日モ我心
ヲハアムソシリケルト云奇ヲ引ケリ

服食 **器財** **はいぜん** 〔相陪膳ナリキヨシメヌオモノ、
カタハラニアリテ給仕スルヲナリ

はかなきものよきこゝめ

さず 〔紫ワツカナル食物ヲモクハヌナリ。クダ
モノナドヲハカナキモノトイヘルナルベシ はい

たえれ 〔末紫ノ紙ノ年ヘニケレハハヒオクレフルメイタル
ニトアリ。紫ハ灰ヲサレテ洗ルモノナレバ古ビテ

サメタルヲ云リ。細流ニ光ハ同事ニ契云灰オクレタルト見テ其上
此注アルハハヒオクレタルヲ兼タリトノ意ニヤ。シカラハハヒ

オクレタルト直ニイフヘシト云々 **はがため**のい

紫ノ色ノ紙ノフルビタルナリ **し** 〔音ハカタメノイハヒシテモチヒノカ、ミヲサヘトリヨ
セテトアリ。此サヘトイフ詞ニテ優ニナレリ。モチヒノ

カヅミトハハロキ故ニイヘリ。齒固祝ハ元三ノ日イヘリ。齒ノ字ヲヨハ
ヒトヨメリ。ヨハヒカタムルノ義ナルベシ。タカツキ六本ニシヨレキヲ

ハ

正ナノ其堂ニ餅大根 **はり** **たり** **たる** 鳥

錦ノコトバキハレサレタルト子ニトアリ。 **はつ**

早コレハワラハハノクヤウレテ侍ルハツホナリトテトアリ。 **はつ**

初穂ノ美ニテ元来新稲ヲ神或ハ朝廷ヘ奉ルヲイヘルヨリ **はつ**

万葉ニソナフトヨメリハツホハ初穂ト延喜式ニ書リ又三代 **はつ**

実録ニ新錢ヲ神ニ奉リ玉フヲ所鑄作之早穂二十文 **はつ**

云ク凡 **はつ**

見エタリ **はつ**

はつ

虚詞 **はつ** 御ニホヒハナラズ玉フベクモアラサ

人事 **はつ** リケレバトアリ契云上ニ世ニキヨラナル玉ノ

朝日ノニホフ花ノ色ノニホフナド同シ下ニ絵ニカケル揚貴妃 **はつ**

アルトト互ニ考フヘレト云ク **はつ** 鼻ナトモアザヤカナル所ナウ子ビ

モ艶ノ字ノ美アリソレヨリ人ノ身ノ時ニアビテイキホビ **はつ**

アルシモ又風景等ノウルハレク見事ナルヲモ形容レテ云リ **はつ**

はつ ニホヒヤカニウクレトアリニホビハ

外ニ似ルモノナキノ **はつ** コレハ二ノ町

はつ ヤスキナルベレトアリ

はつ ハツホハ

②

一町ハ專ラナル町ニ三ハソレニ次モノナド居ル町ト云キ
ミニテ次ナル一ヲ云俗語ナリ大切ニセヌニ通リモノナリ

けめをつのひ ニホヒサハナヤカニタチソヘルモス
ベナクテニゲメツツカヒテトアリ

俗ニゲレタク
ラスルト云義 けごまよ 志めるはと

よりも 仏モナかく心キタナレト三玉ヒツベレ
ニシメルホドヨリモトアリ俗ニテ濁世ニ

アルヲ 云ナリ けららめよもろけもら

ぬ 葉 独 ワレガホヲ出レテニクケニ
ホコリテゴトラナサヌタイヘリ

天候 にござれすま 幸 澆季ノ
意ナリ

人倫 支躰 によろこ 相后ニツゲル女官ナリニ位ニ
位マデナリ女御ノ數ノ多クナル

一ハ丈德帝ヨリ
始ルト見エタリ

服食 器財 けき 明 御アリサマヲニキノヤウニ
カキタヘリトアリ日記ナリ

いゝのみす 權 ミスノヘリ
ハ色ヲ云ナリ

ほ

虚詞 人事 ほい 相 本意ノ字ノ音ヲ用テ
思フ如ニナルヲ本意叶ト云 ほん

まやう 帝 本性ノ字ノ音ニテ
ウマレツキト云フ ぼ、るむ 意ハ
セテ

(ホ)

類 顔ニワラヒノ見ユナリ。ホハ顔ノカタヘニテ。は、ゆが

めて 哥ヲ正レクオホエズユガニナリニ云出スナリ。ほ

の免るす 紫 アラハニイハズレテ ソレトシラスルヲ云ナリ ほとほ

心 賀 ホトクワラヒヌヘレトアリ。契云アヤウキ意ナリ。 何セントシツルナド俗ニイヘル

コレニカナヘリ程ヨメルハ程 是ノ長保樂ノ破ナリ ぼがしなまき 葵チヒサキニ

急ハカリヤスト云樂名ニ 子ヲサシテイヘルナリ

マテモナ ぼだ 子ヲサシテイヘルナリ

はんざ 〔結〕ホニサイノカタクノモノヲレヘ玉ヒレニ

ベキオ徳ヲ ぼとぼと かりけむ

強上ノホトホドニ同レ契云殆ノ字ヲホトシテハヨムハ此ホ

トホドヲ音便ニテカクハ云ナリ。危殆ハトモニアヤウレトヨム

ホトホドノ意モコレニ同レ然レハ上ノトラスニ下ヲ濁ルナリ。

程フルヲホドクレト云トハカハレリ。ニッノ證哥拾遺雜恋ニ

〔宮ツクルヒタノタクミニテヲノオトノホトホドレカルマヲモニレカナ

見ハ殆ナリ。六帖不尼ノ山ナゲキコルテヲラノ、エノホドクレク

モナリニケルカナ。 夏 ホウケタルナリ。夕

是ハ程 ぼとぼと 是ハ程 ぼとぼと

ヨロコブコソレリタル詞 ぼけし 種 狂人ノ心ヲ

ホ

ナルヲ云詞ナリゴ、ハモノ、ケニテ **ほろほろ** 菜

人事ヲシラヌサマライヘリ **ほろほろ** 菜

ホロトサワグトアリ、ホロクハバラクナリ **ほとりば**

人ノ多ク立サワキタルライヘルナリ **み** 菜

東人ニヘツラフ云人ニナレテカツクヨリイヘリ、又此

次ニ廊ナドホトリバミタラニス、セ奉ラントアカ

ズイトヲレトモイヘリ、是ハ家ノ内ニ少将ヲオキ

テ、其ホトリノ廊ニ手習ノ君ヲ置ハイトラキトイヘリ

天地 **ほかけ** 帚ソヒフユヘル御ホカゲイト、ムテ

時候 **ほかけ** タク、女ニテ見タテマツラマホレトアリ、ホ

カゲハ燈ノ影ニアラス、燈ニテ人影ノ **ほうげ** 子

ツツルナリ、又火影ゾミイヘル所モアリ **ほうげ** 子

ホウゲ、ツキクスレカラントアリ、ホウゲツキハ佛法メキテト云カ

如シ、俗ニ仏クサキナド云クハフレ 詞ナリ、クスレカラニハナツカレ

カラスト **ほろぼろ** の 皇殿ノ字ナリ、和名ニ

云入レサスルナリ **ほろぼろ** 殿下ノ外屋也トアリ

人倫 **ほんき** 雲本妻ナリ、夕雲ノ北方

支幹 **ほんき** 雲井ノテラサレテイヘリ

生植 **ぼろぼろ** 乙木葉ノオツル

氣形 **ぼろぼろ** ケレキライヘリ

服食 **ぼろぼろ** 末幼少ノ貴女ノキルモノナリ、

器財 **ぼろぼろ** ガムモノノサクラノホソナガモアリ、

ホ

サクラ色ハオモテウスク、 **ぼろぼろ** ホニカキテトアリ、手習

ウラハコキスハウナリ **ぼろぼろ** ノ手本ナリ、梅サウビ

モノヤカテホニモ **はろびつ** 野ヌリ桶ナドノ類カ綿ヲカケテ

ムレリナドスル **はく** 橋サヤカニオレミキタルホクドモノカビクサキトアリホグ

ハモノカギレフルキ紙ナリ ホグトカキテホニグトヨムナリトリヲサメオキタル故カビクサキナルベレ

へ

虚詞 **へんつぎ** 橋契云ブルクカキタル本ヲモテ櫻井刑ア入道素丹トイヒレ

人事 **へんつぎ** 人ノ講ビレラキタル本ニキモ濁レル声ヲサレテ片偏続トカクハラニカケリマサレクハ偏続トカクベキナリタトハホ

偏ト定メテハ木偏ノ字ヲ旁ヲオホク立案 出セルラカチトスルヤウノコナルベレ

天地 **へんぐちめきて** 良昔アリケシモノヘニグエメキ

時候 **へんぐちめきて** テウタテ思ヒナゲカレトアリヘニグエハ変化ナリケ

テウタテ思ヒナゲカレトアリ ヘニグエハ変化ナリケ

ノ字ニ直音ノ假名ヲ用ヒ合音ノ字ニ拗音ノ假名ヲ用 コタリ凡ソ物語類ニ此例多レ眷属ヲクエニソク法華經

ヲホクエキヤウ源氏ヲグエニシナトイヘリ コハ源モ夕白ハ

ムレテ **べちなう** 注ニ別納ト唇テ別ノ屋ニイヘリレカフバナフノ假名ナラシ

人倫 **へいちう** 床平仲ハ平ノ直文ナリアヤリテ顔ニ墨スリレフ大和物語

支幹 **べいじう** 菜陪従ト書リ注ニ東遊ノ奇人ナリ近衛兵衛ノ官人ヲ召テ

ニ見エ **べいじう** 人ナリ近衛兵衛ノ官人ヲ召テ

タリ **べいじう** 人ナリ近衛兵衛ノ官人ヲ召テ

其役人トス石清水賀茂

ノ臨時ノ祭ノ時ノコトナリ

服食
器財

へい

瓶子トトラセテト
アリレヤクトリヲ云

こ

虚詞
人事

とこよめ子

相スケレテトキメキ玉フアリケリ
ナリ時ニアヒタルサシイヘリ

とみや

頓ノ字音ノ轉ガルトイヘド疾ト云
詞ノ轉セルナルベシ速ニ其マナルコト
の

か 殿ニ居ルノ義ニテ宮仕ハスル人番ノ日ハ御殿ニ居ル
ナリ一説ニこのイト居テ殿寐ノ義トイヘルハ未穩ナリ

とより

歸此人ヲレモリニ思ヒトメ侍ラズ
イヘリ終ニ此以ヲ事女ニセトハ思ヒ定メ

ズ俗ニ云オモヒモノ
トナシテオカシトナリ

とばかり

トばかり月ヲニル
アリトばかりハ時計

ノ畧ニテレバレノ意ナリコトニ時トイヘルハ暫時トム
義ニテ年月ノ長ニ對シテ云ナリ一時ノ久ヲ云ニラス

うとな

又どううたさマモアリ動ノ字ノ音
ヲ用ヒテ身ヲ静ニシテ居ルヲ云

ナル べし とこよめやうれこちん

聲ノトリ
とこよ

まかろさよ

貞トサカウサニツケテトアリ
契云東西ノニ字ヲ日本紀ニ訓

とぢむま

葵ト子ハ終リヲ
云止ナリコハ

ヤムニジキ
トイヘル

とく

明入道ハカノ國ノトクイニテトレ
口相カタラヒツレバトアリ得意ノ人

ト

トハムツツレキ
中ヲムナリ

とこころせきよさぬ

零貴ヌ
高位ホ

トミタリニ出ルノナリカタケレバ所セキトイヘリ。下々
ノ身分ノ自由ナルニウラブレバ所セバキトイフベシ

とよみ 乙年満ルノ茂ニテ年賀ヲイヘリ。
四十二三子。五十二三ツルナド。契云

蜻蛉日記ニハヤトレミヲゾレ玉フナド。オホヨソ此詞猶
見エタリゾレハ精進ノ後魚ヲ用ルノヤウニ見ユ猶考

フベシ。土佐日記ニモ 年斎節斎トアリ とりのゆれてつき

トリノユノテツキ。イミジウツタリタルモノ、コ、チスルヲト
アリ。サウノコトヲ引時。左ノ手ニテ緒ヲオステツキナリ

とぢめつは 薬オモキ病者ノ。ニハカニトヂメ
ツルトアリ。是ハ人ノ死スルヲイヘリ

人ノ死スルハ一生ノ トヂメナレバナリ とりすはこと イヤレク
人ノサエ

ハカナクトリスルコトドモ、モノ、ハヘアリテ。ニサル所ナルト
アリ。契云。人ノサエモサリ。ガナクトリヌルコトドモ、ニサリ

テ。アヤレクモノ、ハヘアル所ナルトナリ。アヤレクトハイカテ
レハカ、ルゾトアヤレム意ナリ。トリヌルハ人々ノ心々ニレ

タガヒテ。或ハ手カキ。哥ヨニ。琴ノワゴン。琵琶ナド。一輩ヲ執
スル意ナリ。ハカナクトハナホサリニスルヤウノコ、ロナリ

とく 東トクイカメレウナドアレトイヘリ。財宝ヲ
サレテトクトイヘリ。得ノ字ノ意ナルベシ

天地 乙アタニミストヨヲ
時候 カビメトアリ。注ニ

とよをかびめ 梅外ヘヨ とよ
天照太神ヲ申シ とよよりて リテナリ

ト

よつゆき

葉友待雪ノホノカニ残レル上ニトアリ。注ニ消ノコリテ又フルベキ雪ヲ待ビ

契云家持集ニ白妙ノ色ワキカタキ梅ガ枝ニ友待雪ヲ
消ノコリタル貫之集ニ梅ノ花サクモシラスヤニヨレノ山ニ
友ニツ雪ノミユラシ詩人玉屑ニ残雪ノコニ待伴トイヘル
ハゴレラニヨクヨレルコナリサレド待伴羞明ナト俗語ト
イヘリ唐ノ世ヨリアリケル詞ニテ此国ニモ
ツタヘテヨメルカオノツカライヒアハセタルニヤ

せめつき 年ノセムルハ
年ノ暮ヲ云

服食 どんぶき 和ツミイヒト云ヘリ下
人ニタマハルキリメレノ類

ナル とうろ 帚トウロカケソトアリ。とば
燈山龍ライクツモ掛ルナリ

りちやう 帳ノ類イヅレモヘダテニ用ル具ナリ

こ 紫獨鈿ニビジリ御 といわもの、ぬく

ろ 神契云トノ井モノハ夜ノモノナリ其フクロハ俗ニ云
番袋衣ナリトノ井スル人初ハ多カリケレバモテクルト

モテ帰ルトオホカリケルガ世カハリテ源氏ノ威勢オト
ロヘタレバトノ井人モハカクシウハナクナリテユキカヒレ番ブ
クロモ見エズトナリ後撰ニニサタガトノ井モノヲトリタガ
ヘテ太輔ガモトニモテキタリケレバ大輔アル里ノナラノ都ノ
ハレメヨリオレニケリトニユル衣カ返シ雅正アリヌトテ思
ヒモステレカラ衣ヨソヘテアヤナ恨モツスル又或説ニ赤深
右衛門家集ニカタガヘニ来タル人トノ井モノヲ出シタレバ
ツトメニイヒタルヨヤドリノ朝ノ原ノ女郎花ウツリ香ニテヤ

ト

人ハトカメシ返シ宿カセバ床サヘアヤナ女郎花イカテウツレル
香トゾコタヘニ又宇治拾遺物語ニ平貞文が本院侍従が
局ヘレノヒタル所ニ云局ニ行タレハ人出キテ上ニナレハ案
内申サントテハレノ方ニイレタイ又ミレハモノ、ウレロニ火ホノカ
ニトモレテトノ井モノトオボレキ衣フセゴニカケテタキモノ
シメタルニホヒナベテエナフスト云々是ハタゞ夜着ノナリ

補

イヨリトニデ。卷ノ次第ニテ
シルセリ。モトヨリ部類ヲワケズ

とあまきバカ、ア

帝トアレハカ、リアフサキルサニト
アリ。ユチラカヨケレバアチラガア

シク物ノ行違ヒテ思フヤウナラヌヲイヘリ。古今ニ、へど
ハコトテトスレバカ、リカクスレハアナイヒシラズアサキルサニ
ヒサウナキイヘトウジノピトヘニウチトケタルアリ。
ヒサウハ實相ナリ。家トウレハ本妻ヲ云ナリ。注ニ八頁

相ナルナリ。キノ字ハ添字ナルベシ。此類詞ニ多キ歟。契云。鮮美
相主人母ト云ナルベシ。遊仙窟ニ主人母ヲイヘトシト云セリ。六
帖第五ノ題ニ家童子ヲ思フトアルヲ或人流布ノ印本ニ他ノ
カキ本ヲ以テ校合シタルニハ。假名ニテトシトアリ。日本紀第十三
ニ允恭天皇ノ后。忍坂大中姫イニダヲトメニテ。母ノ御許ニオハ
シ。レケル時。鬪雞造トニウスモノ、トシト呼。井ラセケルヲ。ハタ
チテフツク。己玉ルコアリ。ソコニ戸母此云。觀自トアレバ。家ヲカ
ナヒヲサムル以上ノ老女ヲイフ。故ニハラタ、セ玉ヘルナリ。和名ニ負
ヲ加旨トヨム所ニテクハレ。万葉集第四。坂上郎女ガオタル哥ニワ
ガ子ノ刀自トヨメルハ。老必ニ通ジテイヘル。家童子トワロク心得タ
ルヨリ。六帖ニモ後ノ人ノ真名ニカケル歟。トシトウジトイヘル。曾
便ナルベシトシトハ。所ニテ家ノナリ。主ノ上界ナリ。古ノ例
家内ノハ其家ニテ第一ノ女トリハカルコ故オモタチタレ第一ノ
女ヲ主トイヘリ。ソレヨリ轉シテ家ノ字ヲソテ。本妻ノトセル

補

いひたや

ハヤシハ葉アラスナリ。エアノ及ヤナレバ。ハヤストツメタル詞ナリ。今モ謚ヲウタ

フフ葉アラサントテ。鼓笛、いざや。万葉ニ不知ノ字ヲイザト
ナドヲソヘルヲ、バヤレト云是也。ヨセタリ。イザハ否ト云ニ

同シクヤハヨニカヨヒテ。疑ノヤニアズ。發語ノ詞ニ多用ス。ハ
人ノ物問ニ不知ヲモ。又其問ノ心ニ違フヲモイサレイナレイヘリ。

ト云。其唯ノ字音ヲ和語ニ用ヒタルニアラズ。自ラ通ヒ合タル
和語此タダヒ必カラズ。ヨク考スレバ、ソノ

答フルニハ、ア、イ、ウ、エ、ヲ、ノ、詞ニテ云。さうぞくゾク

ナルモテナレナリトアリ。契云。はのぶら。注ニ衡黒ヲホ
放俗ナルベレバ、清ソラ濁ベシ。はのぶら。ノクラレトヨセ

タリ。契云。此字何ニ出タル心得ガタシ。はなうちか
日本紀ニ、凌晨ヲホノグラレトヨメリ。はなうちか

み。契君モタビクハナウチカミヲトアリ。契云。心ニカナレヒ出
来テナミダノコホル、時、湊モ丸モナレバイヘリ。和名一字

書曰。湊和名須ガ波太示鼻液也。文字集
略云。挽俗云波太加魚以手去鼻湊也

いのめまろ 波イトイカメ
レウタチテト

アリ。契云。日本紀ニ嚴又重ノ字ヲイカレトヨメリ。事ヲ嚴重
ニスルヲ常ニハイカメレウストモノニモカケリ。曠恙忿怒等ノ字

ライカルトヨムモ、イカレニ下ハ通フ。欬怒、ほたの
潮怒浪ナドイヘハ、此イカメレウハイカル心欬

明ヲホノカトヨムルヲ、契云。ボノカハ万葉ニ
髻髻ヲ用タリ。會明ハアケボノナリ。べよといふ

の 河海ニ粉白氏トアリ。契云。和名ニ粉名云。粉粉和名閉迹
粉赤也。深使赤所以着類也。今按。粉即粉字也。又云文選好

補

色賦云着粉則太白和名之路岐毛能粉ハレロイモノナルト誰
モ知レルトナレバ文集ニ頼粉トアルヲ河海ニヒカレタルヲ重テ引トテ
頼ノ字ヲホトセル

軟考アベシ 梅 契云万葉十三ヲトメラガ
浦ニ云此麻司ノ事カ細流ニヌリヲケナドノ多クヒカトアリヌリ
ヲケハ塗麻司ナリ漆ニテヨクヌルハ綿トノカ、ラヌヤウトテナリ

いそとく 幸 細流ニイソガレキナリ契云日本紀ニ勤心又
勤乎ナドアルハヨク其役ナドヲツトムルヲ云、續日本

紀ニ取勤臣之美賜姓伊蘇志臣トアリイソガレキト云詞ハラウガ
ハレキヲイハバ叶ハヌナリ但事ヲツトムルニイソナキ意ニテイソガレキ

名付タラハモトハ 兼 出家之途以戒、ろ
同レ詞ニテアルレ、いむこと 為本ト日本紀ニ見ユ

なり 雅 いろなりとかいふメルビス井タチテトアリいろなりハル
リイロヲ書アヤレルニヤ、兼 翠ハソビトテルリ色ニミユ鳥

俗ニカハセウビト云古事記ニハ翠鳥トカケリ

和名ニソビルソニトモイヘリ、鳩ノ字ヲヨセタリ、いたちのえ

べらんわうなれ 東 契云イタチハ其性サワガレタテカ
リクモノナレバ浮舟ノ母ノ浮舟ヲ思フノミナラス、常陸守ヤ子ドモ

カ心ヲモ取ラントレテコナタカナタレリモスエズ心モソラナルライヘリ

いさよとけ 浮花鳥ニサトクレキ、用心スル意、し、再花ニ物
ノサトキ心、契云イハ寝ナリ子ゴキライギタナ

レト云レバく目ノサメテイギタナカラヌライノサトキト云フ俗ニメ
サトキ人ヨサトキ人ナドモイヘリ、花鳥再花トモイノ字ヲヌセ

ラレヌ、いさよとけ、手 孟津ニ威攬、河海ニ辛
イカ、いさよとけ、契云イカラ

レトイヘルニテ、瞋ノ字ナルベシ、威攬ハ殊ニ暗推ト見エタリ、威
ノ字ノ音ハ為ニテ伊ニアラヌ上ニ音ト訓トアラハセテ、威攬トハ

補

イフベ
カフズ

源語梯上共

ち

虚詞
人事

ちりとはる

帯身ヲイサギヨ
クモツライフ

ちかおさり

明御コノロサレノチカマサリヌルナルレ
トアリ。近ク見聞ホドイヨク心ヲテ

ノヨキ

ちりほひ

禎注ニ沈淪ト云。流落
レテオチブルナリ

ちり

げんよなりぬべきみ

中間ナリ。イヅレヘ
モツカヌライヘリ

ちりむかり

葉スコレバカ
リトスニ同

ちりもすゑ

たてふつらじ

人ニケガサ
レヌラニ云

子

天地時候

ちりむこ 塵ノツモ ちかき志

人倫

ちやはふろうし 蓬 其家ノカヘノホドナリ。シメトハ 領スルヲニテ我領スル家ノ間ヲ云ヘリ 神 ちやウハ長

支体

ちえだつねのり ナリ。フソウシハ奉

送使ナリ。齋宮ヲ伊勢

へ送ル使ヲ云ヘリト ち、ぬ 乙 父主 ち

比ノ上手ニスメル千枝常則

ナドレテトアリ。絵師ノ名ニ

ぬ 菜 乳母

ちよころあらめ 帝 是ハ基ヲウツトキノコナリ

服食

チハ持ナリ。今云セキ

ちす 柳 帙子ハ各裏ナリ。コハ經ヲ入ル。チツナリ。チヌハチツノ音ノ轉スルナリ。

帙篋ノ義トオモ

ちうさすこと 乙 ちウサスコト

ナリニテリヤトノ玉ヘド、アリ。注ニ柱ナリ。琵琶ハ柱トイフ。ち

箏ニテハコトヂト云。又左ノ手ニテオスコトモイヘリ

ち 菜 注ニ唐筵ニ縁ヲサレタルナリ。又ハ糴ノタダ

志 ビナルベレ。ヨゴツノ物ノ下ニレクヘキ用ナリト。按ニ人

ちん乃

ノ往来スルタメ歎。今テモ貴家ニ大礼ノ時

かけむん ダイナリ。今ノ

シキ出シトテ。道ニムレロラシクアリ。此類ニヤ

り 子

源語様上廿八

リくドれまひり 帯リニジノニツリノテウガクニ夜フケテイニジウミゾレ

フル夜トアリ。加茂ノ臨時ノ祭ナリ。臨時ノ祭ハ宇多帝ノ御時ニ始ル。十一月酉日ナリ。調樂ハ其前ノ午日内裏ニテアリ。江次第等ニ委レスベテリニシトハ之リタル外ノコヲスルヲ云 りちのちらべりち

ベハ女ノモノヤハラカニカキナラシテトアリ。律ノ調ハ飛鳥井ノ律ノ哥ナリ。此コロハ十月ナレド。哥ニヨリテ秋ノシラベニナレテ琴ヲヒケルハ今宵ツ月秋ノオモカゲアレバ似ツカザルニハアラストイヒテ。又下ニ笙ヲ盤ヲシラベタルハ冬ノ調ニアラタメシ

ぬ

虚詞 ぬかたてく 原 又カハ鏡ナリ。拜礼スルニヒタヒラ地ニツクルヲ云 ぬ

すよえれよま 末 イソガハシキ中ニテ閑ヲ又スムライヘリ。契云。万葉第

十一ハ心サヘタセル君ニ何ヲカモイハズイヒシトワガヌスニハニ又山川ニウヘヲフセオキテモリカヘ二年ノヤトセラワガヌスニハ ぬしぢぬ 賀 無キ名ノ立ヲ云ナリ 而 又レキ又

ニ菅家ヲアメノシタノガルノ人ノチケレ ぬけたりけ 藤 常人ニスグレタルニ 拔 羣ナドイフガ如シ ぬる

みる 葉 御身モスルミテトアリ。契云。河海ニ小町集ユルカナ。案ニ小町集ニハ二三ノ句ワレガ思ヒニアハヌ夜ハトアリ。ゴレハオモヒラ火ニナレタレバヌルミテト云。詞イハレタリ。河

(21)

海ハ誤テヒカレタルベシ。万葉ニ又ルト云。詞ニ少熱トカケリ。又ルシト云。爰訓ヲ借レリトコハ思ヒヨリ熱氣ノ出ルヲ云ナ

天地 ぬりごめ 神注ニ府庫ナドノ類トアリク

人倫 ぬすあし 未我トシラレシトスキアシニア

支体 二足ツ、アゲ ユミノキ玉フトアリ。足ヲスラズ

服食 ぬさぶくろ 菜春ノタムケノ又サフクロニ

器財 古ハ色、ノ絹布ヲ尺ナカラ奉ル故ニ万葉ナトニハ常ニモ旅ニモオク又サトヨメリ。後世旅行ニハ細ニ切タルヲ袋ニ入テ持行サルベキ所

所ニ打チラシテ。道ノ神ニ手向テ行ヲ云ナリ。又サハアサノ轉語ニテ。麻ノ上代ハ麻ヲ用ルニヤ

る 梅瑠璃ノ盤

るりれつろ 梅瑠璃ノ盤

虚詞 ねほかた 相大ノ字ノ義ナリ。所ニハ

人事 たばし オモテタチタルト云意。こ、かし

手 オカシト云ハオモムカシノ義ニテ。オムカシ。オモカシナト云ヨリ

オ

フニイフ詞ナリ。をのりト書ルハ可笑ノ字ヲ。真名伊勢物語ニヨメリ。又東鑑ニ事咲ヲコトヲカレトヨメリ。オカシヲカシ。其本ハ異ナレト。後ニハ混ジ用フ。双紙物語類ニ多キ詞ナレバ。其所ニ随テ解スベシ。 **ねしふ**

べたらぬ ナミクニニハナキナリ **ねふふ** おふなニツ

冬キ御アソビヲシテ。アフナク。オホシイタツクトアリ。注ニ子ニコロナル心ト云。真名伊物ニ随ハカノ字ヲヨミセタリ。其分限ニ随テ事ヲ 冬スハ子ニコロナル心

ねよずけ コノミコノオヨズケモテオハストアリ。注ニ万ニ助及ト唇。オトナビタルヲナリトアルヲ契

云。万葉ニ助及ノ言ニタクナシ。不可用ト。 **ねほつか** 云。詞ノ義詳ナラ子ド。オトナレキセシ。 リ。コ。ロモトナクタレカナラヌヲイヘル詞ニオホ

なほ 鬱悒ノ字ヲ。オボツカナレト。 リ。コ。ロモトナクタレカナラヌヲイヘル詞ニオホ

ねれごもり アル時ハオホトノゴモリスグシテトアリ。オホトノ御殿ナリ。ゴモリハ物ヲトク

テハスナリ。イヌル時ノサナリ。 **ねほし** 志は

ソレヨリタ、寐ルルニ云ヘリ。 **ねむ** 思ヒ鎮ムルナリ。心ヲヲサメテ

ねむ ツムナリ。沈ニハアラス **ねむひねん**

ねむ 子ニ念ノ字ナリ。音ヲ用テ心ニフカクオモ

ねむ フナリ。又コラユルヲ子ニジテトイヘリ **ねむ**

ねむ オシタチカドクシキトアリ。ワガ思フ

ねむ ナリ。ドチハ共ノ字ナリ **ねむ**

ねむ 両方トモニヨク思フ

ねむ ナリ。ドチハ共ノ字ナリ

ねむ ナリ。ドチハ共ノ字ナリ

ねむ ナリ。ドチハ共ノ字ナリ

㊦

用ル所 **ねのぶ志**、オノガジハウラメシキヲリノト
 モアリ **ねのぶ志**、アリ。オノガテニト云意ナリ。自
 分ノ心カラウラ **ねのぶ志**、ヤシゴトナクセチ
 メシキナリ **ねのぶ志**、ニカクシ玉フベキ
 ナドハカヤウニオホゾウナルミヅレニウチオキチラシ玉フベクモアリス
 トアリ。オモテムキナル御厨子ニナリ。契云。オホカタト云ニ似タリト
 或説ニオホゾラノ誤ナレシ。大空ハトリジミリナキ心ニイヘリ。
 ト。紫式部日記ニ心ニクカラント思ヒタル人ハオホゾラニテハフミ
 ヤチラスラントアルラ **ねのぶ志**、ウチオホトキワカヤ
 モ思ヒ合スベント云 **ねのぶ志**、カニテニギル、コナキ
 ホドトアリ。ウチハ詞ナリ。オホドキハ大人メキ **ねのぶ志**
 ト云詞ナリ。俗ニオホヤウナルト云ニ同ジ **ねのぶ志**
 フミヲカケトオホトカニコトエリヲシ **ねのぶ志**
 トアリ。オホトキノ同詞ニテ。大ヤウニシ **ねのぶ志**

ヲコハ急ナリ。ツレムベキヲツ、シニヌハフコタリナレハ
 愚ナルヲ **ねのぶ志**、ウヤニフベキヲウヤニハヌモ急ナレバ
 不礼ナルヲ **ねのぶ志**、ウトキ人ニミ
 ガニトハ助辞ナリ **ねのぶ志**、エハオモテブセ
 ニヤオモハント、アリ。他人ニ見エハ面目ナクヤアラント、云フ
 ナリ。後撰ニカガセモ老モカクレヌ此春ハ花ノ面モ伏ツベラニ
ねのぶ志、メニニエ又鬼ノカホナド
 オドロクシクワクリタ **ねのぶ志**、レイノ
 ルモノハトアリ。オソロシキ心 **ねのぶ志**、ハラタ
 又オドロクサニモイヘリ **ねのぶ志**、ハラタ
 チエンズルニカクオゾシクハトアリ。
 今モ **ねのぶ志**、ハラタ
 ニモナリシレオトナビニソヘトアリ。コハ其
 身ノ時ヲ得テ官位昇進スルニテイヘリ **ねのぶ志**

オ

ぬすぢらよて

女モヲサメヌスギニテトアリ。こご
エコヲヘヌシ心ニテスニサレヌシオナ

く

ノドケキニオダレクテトアリ。かばめ
オダヤカニ心ヤスクテトナリ

く

サダカナラズホノカナル意ナリ。後拾遺ニオボ
メクナ誰モナクテヨヒクニ夢ニ見エケン我ソ其人

よころ

蟬前ノヲコガシノヲコト同義ナルベシ。説ニ後漢南
蛮傳ニ鳥詩ト云國人ノヲカシキサニヲ

たひまどはーて

良オヒドハシテナノメニ思
ヒナレツベクトアリ。契云オ

ハ跡ヲ追ヒ尋ルナリ。たもたば

志う 貴人ノスガ
タオゴツ

カナルヲ ねふけなく

注ニ我ニ似合サルヲ云トアリ。契
師ハおほけなくト書テ。大氣

ト云ノミニテナクハ添タル詞ニテ。無ノ字ノ義ニアラス。アラキヲアラ

ケナク。又イハケナキナド云ナクト同例ナリトイヘリ。又一説ニ真

名伊物ニオフナク。ト云詞ニ随分ノ二字ヲ用ヒタルモ其身ノ分ニ

随フホドノ負物ノ一ニテ。ホドニツケタル人ヲ恋ベシト云。然レハ愛氣

軀ト云フ義ニテ。身ニ過タル重荷ト云。オレツミニテナリ。

えたるるところあり

紫オホエトハ似タルヲ云。小女ノ顔
ノ祖母ニヨク似タルヲ云ヘリ

たこなひのらう

注ニ行ノ旁トイヘリ。紫ニらうハ
らふノ假名臘ノ字ナルベシ。オコ

ナトノツモレルヲ臘ト云。臘ハ年ヲヘタルナリ

をところだふら 末コトニ馬踏
被ルベケレ

契云日
本紀ニ
安措ラ
トヨリ

トアリ。年始ノイハヒノ奇舞ヲ禁中ニテ殿
上人ノツトムルナリ。聖武帝ヨリ始ルトイヘリ
ねさゆや 賀面日ナキヤウス ねさだちて

其事ニ深ク入 ナリ。恥カレキラズ ねさ
タチタルナリ 何事ゾ出来レ ねさ
レテタルレメント思フ。 バ此事ライヒ出 ねさ

大解ノ義ニテ。物ニ拘ラサルヨリイワト を、 ねさ

葵ウスラカニ衣更シテヲ、シクアサヤカニトアリ。 を、 ねさ

日本紀ニ雄畧等ノ字ヲヨミテ。男ラシキサラズ を、 ねさ

りて 女房ニ子人バカリオレコリテアリ。 ねさ
一所ニ人ノ集リタルニ疑難ハ義カ ねさ

こ 神契云オモテフセト云ニ引カヘタル訓ナリ。仲文家
集ニアガ仏カホクラベセヨゴクラクノオモテオコレラ

我ノミヅセニ取ラ ノヒガムナリ ねさ

はめく 里契云後於送ニ斎宮女御ニ夢ノゴトオホメ
カレ行世中ニイヘトカムトカ音ツレモセヌトサダ

カナラズホノカナ ヲチカヘリノエカシムル ねさ

ルコ、ロナリ トアリ。花鳥ニミナカヘリ ねさ

ハ万葉ニ百ノ千反ト書リトアルヲ契云万葉ニニタ多百千反ト
イフ訓ナシ。五百重山八百日行濱ナトイフ時百ノ假名ハ保心

遠ニテラズ五百入ト書テ。房ノ借字トセリ。 下 ねさ
遠帰鳴ノ義ナルベレ行テハモドリ幾度モ鳴シ 下 ねさ

らへる 老人ノ ねさ
サニラズ 案ニガリハ權ノ義ニテ ねさ

ラ

北山抄ニ擬大小領ノ如ク如クナルベシにれぬがみ、よつけ

字ヲカリトヨムガ如クナル蓬にれぬ縁フカキ勞ナク見

たふ身々ナリにれぬレモノハオトレルモノナリ。深く精ヲ出サ又故ナリ。又物ノ半

掘タルが如ク。何ニモタラヌハシタナルヲ云意ニヤ。レカラハを

ノ假名契にれぬ雲オダレウ思ヒナリニテ侍リ

ナリ注にれぬトアリ。オダヤカニ人サマニテイヘリ

にれぬ注大ヤウナル乙注ニ追スガフナリ。ガフノ及リグニテスグハツダ

ナリ。ゴ、ハヲサナキオノツカラヲレタルコソイデ

ルヲ云をクベカメレトアリ。思ヒヨラヌ

にれぬ注大ヤウナルヲ、サヤウナリトイヘル意ナリ。又ヲイ

ヤキ、レ人ナリトアルモ唯ト忘ルを王是ハ田

心ヲサナクモカヘリミセ契云。日本紀ニ不賢不敏不肖

不敏等ノ字ヲイハオロカナル心子ヲサナレト云モ亦此心イハオロカナル心子ヲサナレト云モ亦此心

すサレモフカキ御心ナカリケルヲオトシアブサズトアリ。ア

又心音モトヨリオレトアリ。注ニオロカナル心

ヲ

トアリ。前ノヲレモノト
別ナルヤ詳ナラズ
をれ蝶花ニヲレツトアリ。秋ヲヒ
ク人モ此春ノ花ノオモシロキ

ニハ心モヲレテ春
ヲヒカニトイヘルナリ
おほし夏タソカ
レ時ノオ

ボクレキトアリ。オボメクナリ
人カホナレノハツキリト見エヌ
に困ノ字音ニテ。元シムル

野オダハオソル。こ。コウジテハ。困ノ字音ニテ。元シムル
ナリ。俗ニ病ノオモクナルヲ。コウズルト云モコレナルベシ

よりか。人ガラノオモ
をといとけさやか

よここえて
幸を人ノワレヲ呼フ時
唯々ト發ル辞ナリ

ひふとれし十分ニ思
にほしおそまけ

ハ音テハ助辞ナリ。オボシ
オキケレバ。コノ類多シ
にほしひとまふ

蘭心ノ中ニカ名。ハナシ。人ハ何カ
トイヘドノ意此内保テ下ニ重出ソ
にほしひとぢめ

榎思フアヲ
果シ終ルニにほし
注ニ無奥ナリトイヘリ
ニオフナゲトイヘルト同

ツ、ミカクス。トモナク。ウチアケテ
思ニ慮モナク。コニカセテ云コにほし
ケオアス

カコヒア。コシ玉フ。モカクキヲトアリ。
契之。此オボロゲ。ヨノツ子。ア
ハオ。ホロニテハト云ベキ所ナルヲ。事タガヒタルヤウニ聞ユル詞ハ

細流ニオホロケナラヌ。トナラ。デハトナリトアルハ。注ノ詞ヲコニ
オカハ。叶ズベケレド。サニハ。ア。フ。又。詞ナリ。オボロゲハ。必々ノ義ナリ。

マレニ。必々ナラ。デハトイヘル心ナリ。ガヨヒア。ヒ。ミ玉フハ。カヨヒア
ヒテ。ミ玉フト。心得ベシ。カヨヒテ。相見タ。フトハ。心得ベカラス

ヲ

ねもぎらひ

チゴノオモギラヒトアリ。小児ノ知ラヌ人ヲ見テハツカレカルヲ云ナリ

ねもひらまなき

イトウタテ思ヒクマナキ御コカナトアリ。契云。源氏ノアツリナ

ルミデ御心ヲツケテフヨトシ

ねも

サル世ノオモシトアリ。時ノ凶マアリテ物ヲオサヘレヅムヘキ徳ノ

アル人ガラ

ねとなふめれ

其事ニタレシレテ成人ノサナルニ

ねやのけり

抱父母ノ喪ヲ云ケウハ孝ノ字ナリ。唐土ニテモ俗語ニ孝ヲ掛ルトイヘハ喪

服ヲキルトシ。契注ニ親ノ凶ナリトイヘルモ亦通ズ

をこづり

ヲコヅリトランノ心ニテトアリ。契云

誘ノ字ヲ日本紀ニヲコヅル氏。ワカヅルモヨメルスカレサムク意ニ六帖第五思煩フト云題ニアダノヲコヅリルヤノアヤウサニウケヒ

クノカタクモアルカナ

ねずまーかんへきあ

さをそ

契云古語拾遺云天鈿女命古語天乃於須女其神強捍猛固故以為名今俗云女

謂之於須志此縁也。オフシハ此注ノ意ナリ。オホスカルベキカナトアル本ハコレヲコロエカ子テアラタメタルニヤ

ねーこ免て

イトハカナクオレコメテノ玉フトアリ。其事ノ是非ヲタサズシテオレツ

ケテイねとなー

成人ノサミテ

ねに

おまー

雲。鬼々レキナリ。女子タミノオソロレキ

ねちあ

ふれて

櫛オチアフレテサスラシトアリ。契云。フレハハフレニ同シ。崇神紀ニ溢ノ字ヲハフルトヨリ

ラ

コレニテアフルト同シ羌ナルコトヲ知ベシ。アフレハ世ニハナレ出タルナリ。流落ヲ云 **ねとひや**

ふらたなく

寄ワガ心ナガラオモヒヤルカタナク。契云此思ヒヤルハ思フ遣ナリ。万

葉ニアタオモヒヤルトヨメルハ皆コレニテ想像フオモヒヤトヨミテヨソノコトヲサツアラシメドオシハカルヤウニヨメルハ万葉ハ

一首モ **ねぶら** 契云万葉第廿三

スルモ、カヲニツキテミクノホレキ君 **ねぼれ** ハカヘレハオモカクシ

ふらたなく 習高

天地 **ねぼれ** 和禁中ノモノヲ入ル所ナリ。内蔵寮トハ異ナリト見

エタリ。今ノ御小納戸トイフガ如シ **ねぼれ** 注ニ鳥部野ヲニテ契云。和名鈔ニ愛宕郡ニ鳥部

ノ外別ニ愛宕郡 **ねぼれ** 帝オホトテアラフチカラテ。フミドモナド見エラ

ツイデトイヘリ。大敷油ナリ。アノ紗カニテ即灯火ト云。契云ノアラ約テ。ナトイヘルハ吉野ニアルト云。キヲヨレノナルナト云ニ同シ。

灯ハ油ニテトモスモノナレバアラフト云。和名ニ灯蓋アラフラスキトヨメリ。万葉ニ灯アラフヒトイヘリ云。此灯ハキリ灯蓋キタ

灯蓋ノ類ヲ云ナリ。結燈其蓋ハ **ねぼれ** 原オキ

儀式ノ時庭ナドニテトモス。 **ねぼれ** 中川ト

チキリ玉フヨリ外ノコトナシトアリ。契リカタラヒ玉フコトエジトシ。契云水原抄等ニ奥中河トアル説ハ大ニ誤ナリ。引トコロノ哥ハ

⑦

万葉第廿三アリテ。於吉奈我河波トケケリ。日本紀第廿八云男依等與近江軍戰息長横河破。延喜式第廿一諸陵式

云自心長墓舒明天皇之祖母日廣コレヲ引合テ考フルニ。近江國坂田郡ニアル魚心長姫在近江國坂田郡河ナリ。石葉ニ本示我トカケルモ長ニテ中ニアラス證ナリ。

ニホハ水鳥ニテ息ノ長キモノナレバ枕詞ニオケリ。イキヲ石葉ニハオキソノ凡トモ云レバ息長川ト云ナルシ。おくまり

たるやう緊スコレオクマリタル山住モセデ。サレ海ヅラニイデ井タルトアリ。奥深クカクレタル山ニ契云。河海

ニ興ノ字ヲ日本紀ニヨメリトアレドサレ詞ナレ。万葉ニオクヘテオクケテナドヨメル。今ノ詞ニオナレ。おほえ

どの大江殿ナリ。難波ニアリ。伊勢奇。おほいと

め大炊殿ハ食事ヲ煮タキス今云ダイドコロナリ。

人倫支体人倫および昂オヨビヒツラヒキヨセテクヒテ侍シトアリ。契云。小指ナリト云注ハ誤レリ。和名ニ

指和名由比俗云拵与比季指和名古拵比小指第五指也レ物シテオヨビトイヘリ云々五ノ指トモニ何ノオヨビトイヘルナリ

をどめきて鼻ノアタリヲゴメキテカタリナストアリ笑ヲコラヘタル躰シヲゴメクハウゴツク

微動ナリト云ニ同シおもと婢ナリ俗云コレモトノ類ナリ。又次ニ此オモト、イヘルハ老タルゴタチノコトコ

夕チトモオモトトモイヘリおきなび頁オキナビタル声ニ又カツクゾキコユルトアリ。公羽メキタル

声緊北山ニナシニガシキトイフ。おこなひびと所ニカレコキオコナヒ人侍ルト

アリ行緊井タケハタカウ。オゼナカニニエモフ。人ナリ。おぜあふトアリ北河ノナガキナリ。女ノヨカラヌ

スカタヲ猶レモガチナルオモヤウハト。おほ下卑タル面躰ト云々。おほ

㊦

きみそつた 宴アザレタス大君スガタトアリ。親王ノスカタナリ おほ

よろびと 葵凡人ナリ。契云。後撰恋四忠良君ガ名ノタツニトガナキ身ナリセバオホヨソビトニナシ

テミ 柳老人ノ おい志らへば をさめこさ

ハやうぞ テトアリ長女御厨人ナリトイヘリ。ヲサメハ長

字ヲヨミテ老女ノ稱ニ専ニ云ヨリ云 をんかべたう

字ヲヨミテ老女ノ稱ニ専ニ云ヨリ云 をんかべたう

人々トアリ。女別當ナリ をんかべたう

おろ オウナニナルニテ過ニケルヲトアリ。契云。和名

おろ ニ姫和名ヲ無奈老女之稱也。女ノ假名ハ遠

おろ 於伊遠無奈ノ畧語ナル故。於ノ字ヲ用ヒタリトオボシ。玉カツラノ

おろ ニ十二歳ナレバオトナレクヨキ

おろ ホドナルヲ。卑下ノヤウニノタニヘリ

おろ 幸人ノ我ヲシタシム故。おほい

おろ 我モナレテ心ヤスクスルニ

おろ 蘭コハ嫡女ヲ云ヘリ

おろ 女兄弟ノ内ノ大ア子

おろ 榎取カシク面目ナキサニナリ。世トヘ

おろ 顔ノ出サレヌナド。俗ニイヘルガ如シ

ヲ

おろ 葉嫡男ヲ

おろ 大郎ト云

おろ おほい

おろ おほい

柏朝廷ニ ツカフル人ニ ねもひおよびづは 篁ス井リヤウガホナリ

おんこゝろところおよよアけ

よよ 霧御心ヨソ鬼ヨリケニトオモハレサニニクケモナケレバトアリ心ツヨキヲ云ヘリケトハ日本紀万葉ニ

殊又異ノ字ヲヨムハ怪ノ字ノ音ヨリ轉用シタルナルベレ伊物ニアリレヨリケニモノゾカナシキトアルモアリレヨリ殊ニノ意ニ

今モ鬼ヨリハ殊ナリ契之 後撰恋五三一条ガモトニイトナニコヒシキトイヒニヤリタリケレバ鬼ノ画ヲカキテヤルトテ一条恋シクハカ

ケラダニミテナグサメヨワガ打トケテ忍フカホナリ返シ伊勢カケミレハイト心ヅニドハルチカヲ又ケノウトキナリノリ云

おとがく 寄女ノ恥ラヒテ顔ヲカクスナリ ねのけふ

こ 舟オヤノカフ子ハ一所セキモノニコソトアリ親アル娘ハ心ノハナラスライヘルナリ石葉上三タラチ子ノ母ガカア子ノ

ニユゴモリイブセクモアルカ殊ニアハステトイヘル哥ノ詞ヲトレリ契之或説ニ中宮ノ御イサメラ所セキト云ナリトアルハ誤レリ

列哥ノ心ヲモテ見ルレ但本哥ハ親ノ 夢六將 ちモル娘ヲヨソヘタリ今ハ下ノ句ノ意ヲ用タ 殿上ハ ちとこ

此女ニノ宮ノ御ヲトコニヤトイヘリ夫ナリ又フトコスルトイヘルハ夫ヲウクルライフ

服食 相 大床子ノオモノトアリ御膳ト書テ

器財 お ち おモノトヨムナリ朝カレヒハ女房ハイゼン

レ大床子ハ殿上人ツトムルナリ但シ朝ガレヒハカリソメニメスハ大床子ハ礼ヲトノフルニ膳ヲオモノトヨム飲食ノモノヲ云

ナリ膳トテ今云ラレキ 御衣 ねんそ ナリ あぐし

ヲ

あげのてうど

昔ハ女御更衣以下常ニ髪ヲア
グル木伎ナリヨツテ髪アゲノ調

度ドモラ廣フタニ入タルナリ。鉸釵ナトナリ。サレグレノタ
ヒニテモアルベレ。内ノ女房ハバレノ時ハカミヲアゲルトテカ
シナドレテ髪ヲ

イタバキヘアクル。をアビつものこと

折櫃ト書テ魚鳥菓子ナドヲ入レテオクルモノヲ折ト云
フ。折ナドモイヘルハ此折ニ入ルノ義ナルベレ。モト薄キ板ヲ

折テ釘ナドヲ用ヒズ。ピントナセルヨリノ名ナルベレ。又
コモノハ籠物ナリ。竹ニテ作レリ。皆食物ヲスル器ナリ。おん

よそはひ 〔衣類類ヲサレテイヘリ〕 おんくたもの 〔木ノ實〕

シカレ氏今云クワレナドモ云ナルベレ。饅餅ノ類ヲクワレト
云フ。古書ニモ見エタリ。唐土ニモコレヲ菓子ト云フ。モ見エタリ

おほひちアヒさはくち

〔大ヒチ
リキサクハ

チノ笛ナド。オホコエニ吹アゲツトアリ。今ノ篳篥ヨリ大ナ
ルガ昔ハアリケルト云ヘリ。尺ハモ一尺ハ寸ニキリタルニテ。樂ニ

用ヒ 〔明〕 おんゆ 〔明〕 思ヒナクサテ御ユナトヲタニ。井
タリ。レトアリ。湯トハ藥ノコナリ。下ノクスト云

二ツニ 〔注〕 を志 〔注〕 今モ折敷ト云テ食物ヲノスル。方
盆ナリ。木ノ葉ヲ折敷テ杯盤トナセル。

上古ノ名ノ 〔注〕 おほ 〔注〕 み 〔注〕 お 〔注〕 つ 〔注〕 は 〔注〕 夏 〔注〕 オホミオホ
ツボトリニモ仕

ラントアリ。イカナルイヤレキワザラモ仕ラントイヘルナリ。契云
和名云。周礼注云。藪謂清器。虎子之屬也。今按俗語。虎

子。於保都保。清器。師乃波古。コレニヨレハ大虎子ナリ。河海
ニ尿壺。花鳥ニ大壺。延喜。尿壺ノ字ノ出所イマダレラズ。清

⑦

器ハ世ニキタナキコトヲ云。宇治拾遺ニモアル女ノ人ニ曆ヲカ
セケレバハコセヌ日ト云。コトヲアタカケルヨレアリ。レノハコニテト
レハキタナキ名ヲイハレトテトルモノ、名ヲモ略シテサモ云ニヤ
契説、レノバコハ私宮ナルヨレ類聚雜要ニ見エタリ。今云。ヲカハル
ノ類

ナリ 松人めよ志免此アヤウめを
梅ニシメハ御目ニ加味ノ方リヤウノ方ハ本方ト加味
石ト兩方ナリ。タキモノ、黒方侍従ナリト自ヘリ

ろ おほんつさ 菜ツキハ椀盤ノ類ナリ ををみ
カケバンニノスルナリ

約 十一月中ノ卯ノ日。新嘗會。辰ノ日。豊明ノ節會ニハ山藍
ニテスレル。小思トイフモノヲ着スルナリ。大嘗會ニモレカリ
ト注セリ。ヲイニノイヲ略シテハひつさこのこと
ヲミト云ヘリ。又小斎トモ書リ

然 文ノカキサマナリ。チラレ、カ、ズレテ。意サニカケルナリ。あ、と、志、が、け 東コ、ニオ
トシガケノ
高キ所ニミツケテヲイレ玉フトアリ。注ニ山道大トノ高
キ所ヨリヒキ、所ヘ下ルナリトイヘレド。直衣ノスソノ出夕
ルヲ引イル、ナレバ山道ノコトニハ
アラサルベレ。車ノ中ノモノナルベレ

わ

虚詞 人事 わりなふこと 相分チナキナリ。ト我トノワカ
チモナキライヘリ。ジシセツニ思フ

トアレハ人ノ思フ前ヲワキ 眞実ノ御
鍾愛アル
心ト注シタリ。今ノ俗ノトツテオキノ
ホニサウモノナド云ヘルト同ジ意ナリ。われらの乃け

ワ

志イト、タユゲニテ。ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

ワ

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

志ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

天地時侯

わたどのの

相廊ナリ。廊ハ宮中ノ御来ノ道ナリ

わたつミ

明ワタツミニシナエウラフレトアリ。河海ニ海底ヲワタツミト万葉ニヨメルヨレアレト。テ卷ニテワタツミト点セルハ誤ナリ。七卷ニワタノソコトヨメルヲ正トスヘキヨレ契説ナリ。ワタトハ渡ルハツハ助語ニハ海ナリ。ワタルウミト云ラワタツミトイヘリ。北國ハ山ヲ越テユクガ故ニコレノ國トイヘル如ク。海ニワタルト云コトバラソヘタリ。ワタノハラナドスベテ海ヲイヘルナリ

人倫

わさハぶほ

帰オノレコソト
ホコル顔ツキ

わるもの

上手ハイトイキホビコトニワルモノハ及バヌ所オホカンメルト。繪カクノ下手ナルヲ云ヘリ。男モ女モワロモノハトアリ。カレコカラヌ人ヲ指テ云。わかんどほこ 末ウチニカハラ

フワカントホリノ兵部大輔ナルガムスメトアリ。王孫ニテ姓ヲタハラサル人ヲ云ナリ。詞ノ義未詳。旧説多クハ用ヒガタレ契云。物語ノ中三四所ニアリ。末ニ至テ其注異ナル所アリ。河海ニ王家無等論トカケル本アリ。甚非ナリ。論ハ倫ノ字ヲ寫シ誤レルナリ。世雄無等倫。妙智無等倫等皆同シ。サテ此王家無等倫ノ義モノニ見エタル證ナクバアタルヘレ見エス。モシ其義アラバムノ字バ子スレテムトヲリト下ヘ付テヨムヘキ理也。百済王禪。廣ノ末ヲ百済王某ト云ケルヲ畧シテ王ト云ケレハ。王家トイフベシサテソレヲ音便ニワカントモイフベキハ。催馬樂ニ我家ナト云例アリ。トホリハスガノ意ニテ。王家ノ裔ト云ナドニ。 零童ニテ隨身ノ役 わらはずか志ん ヲットムルナルヘレ隨身ハ 持テ供奉スルモノヲ云ヘリ。 榎 わらハけ イトヒサキワス ゲニテ。ヨロコビハシル

ワ

ニトアリ。童気ナリ。氣ハ気色ニ
テ。子供ノヤウニオトナケナキ共
イヘリ。ワウケハ王家ナリ。
天子ノ御子孫ラレキヲ云。

生植 気形 わらびづくし 寄ユレハワラ

侍ルハツホナリト
テ奉ルトアリ

服食 わごん 夏和琴ナリ。日本ニテ出来タル琴ニ
器財 花鳥ニ。最前ハ弓六張ヲナラベツルウ

チチラレヨリ和琴ト云モノラツクリ出シタリトモイヘリ。
契云弓六張ヲラベテ引ケルヨリ起ルト云ハ。無明抄ニ出。わご
なのおいとも 菜年賀ハ正月ノ子日ニ祝ル故若菜
ヲ用フルナリ。オタリモノニモスルナリ

ワカナハツムト云故此後猶
年ヲ穰玉ヘト祝スル義トゾ わらふだ 殿上人ハスノコ
シテトアリ。スノコハ今云エシナリ。又慶ワラフダサシ出タビバズ
ノ下ニツビ居テトアリ。ワラフダ和名ニ草禱ナリトアリ。今云

圃座ノ 丸うをん 寄ワウバンナトハヨノツ子ノヤウニ
ナルベシ テトアリ。椀飯ト書テワウバント
ヨメリ。コハ今云膳部ナドナリ。
後世ニハ弁當ナトヲモイヘリ

虚詞 かーこころ 相カレコト云詞。日本紀ナドニ
人事 ヨミセタル字ニアラス。賢貴威可

畏等ノ字ヲヨミセ。又恐字ヲヨメリ。各ソク文、
勢ニ随テ解スベシ。又善字ノ意ニ用タルアリ。かたがけ

カ

常ニ忝ノ字。辱シ字ヲヨノリ。忝ハケガス。辱ハバツカレハ

キナド云ト意カヨヘリ。歡愧ノ。サハ思ヒツカレトアリ。

助語ナリ。伊物ニシラスカレナドイヘルモ同シク。辭ナリトメ

決スル詞トモ見エケリ。是モ冀ノ本義ヲ帶テ。我ヨリ私ニ事ヲ決

カハセト云ニ同シ。凡コノ比ヨリ漢語和語ニ

イヘリ。日本紀ニ。癡又愚。癡ノ字、碩ノ字ヲヨミテ。一方ヘカタヨリ

ヲカタクナレトヨメリ。頑愚トツケ用フカ。ト。ヒ。太液ノ芙蓉未典

リレカタチツトアリ。其、カナ、くら、いな、

物ニヨク似タルライヘリ。カナ、くら、いな、

シ。カヒナレ。イフカヒナキナド云カヒハ。聚ナリ。カヒナレトハ、

助語ニツカフカツハ。且ノ字ニテ。字書ニ不定之辭トモ。姑且任、

ウヘト云義アルモ。マアソノウヘナリ。所ニヨリテ。カクトイフニカヨヘ

ルモアリ。是ハ字書ニ。此也。是也ト云注アレバナルベシ。伊物ニカツ恨ツ

猶ゾ恋シキトアルモ。カタテニハ恨ミ、カゴトモキコエツベ

ナカラモヤハリ恋シキニテ。恨ハ、カゴトハ。所ニヨリテ其意カハレレコ、ハカコツ意ナリト云。今案ニ本

假言ノ義ナリ。託意ニモ少ノ意ニモ用。真名ノ伊物ニ神言ト書リ。誓

カ

潤 字音ナリ。カバラカハ潤ノ ちくろへ 時々カクロヘ侍

ト云テノベテカシロヘト云ヘリ。ロヘノ反リレナレハナリガクレシノビテノコノナリ。陰ハカサシ

カレクニミ見レ侍ルボトアリ。速クシクナルシガレハ解ノ上畧ナリ。ワカレハナルヨリ出テ疎遠ナルヲガレシイヘリカ

のやかーちらす カ、ヤカレカラズイラヘツトアリ。ツカレゲナクモナクアヒサツレツ

かすぬささ アアラハニイハズボノメカレイフナリ。霞ハモノヲアラハニ見セヌモノナレバカ

たゑみて 君スコシカタマニニサルコトハ思スベカメリトアリ。カタエミハホ、エムニ同レサルハ尤ノカ

らうとて カラウジテセフハ日ケレキモナホレリトアリ。ゴハ長雨ノハレタルタイヘリ。今ヤウノ

辛苦ラヘテヤウノニト云ヘル河ナリ ちどなるき、み

あらず ヒトカド見所ナキニアズシカイヒク トテツキトアリ。

琴ナドヲヒクニイヘリ。 カイニミナドハミダシ

カイハカキナリ。キイ相通 カイハサリツルヲナレハト

アリ。注ニ垣間見 万開トアリ。契云万葉ニ垣間見ナレサレド日本

紀ニ視其私屏ヲカイニトヨメルモ。心ハ垣間見ニ 関ノ字ヲカイニ

三トハ何ニヨメルニカヒ垣 セウツコブニニモガシナトイフモ

間見ノ字真名伊物ニ出 かんち ノラカキマセズトアリ。カシハ假

名ナリ。日本紀ニ文字ノ字ヨ 名ナリ。日本紀ニ文字ノ字ヨ

ナトヨメレハカナハ 假字ノ後シ かす はな は タホハ禊

禊ノ心オロカナル心ナリ。ホノ字清テヨムベシ。河海ヲサナクカタ ナリナル心ト云シイカバカタハは禊ニカタクナ、ルダニモアルヲ源ハ

(カ)

イカバカリトシ。契云メイトナドヤウノ思フベキ人ハアサシレウマホニ
 ナスモノヲトミレテイトオモタシレウトツツケテイヘリ。万葉ニ左右
 又諸手又ニ手トカキテ。ミテトヨメルハ真手ニテイヅレニテモ一
 手ヲ片手トイフニ對スル詞ナリ。コレニ准ラフルニカタホトマホト
 モ對スル詞ナレバ禎ト注シ玉フ。不斗ゴグ毎マホニモトツツケ
 タルニヨラハ片帆真帆ニテカタホハゾムキナル追風ニカタホニカケ。ホ
 ハタハレキ追風ニ真帆ニカクル心ヨセテ云詞カ駈下。カ、い、な、で、
 ば、あ、と、サヤウノヲカシキカタノ御カサヤドリニハエシモヤト
 トアリ。雨ヤドリナリコレヨリタバヤドリノフニ用ヒ。
 雨ニ用、カ、い、ひ、そ、め、カイヒツメ人ウトクモテナレ玉ハトアリ。
 ナレ、カイハ發語ノ詞ヒツメハ隠ル、意、
 人ニカク、カクイ玉フフ多カリトゾ恨キ、カ、と、
 ルナリ、カ、い、ひ、そ、め、カ、い、ハ、發、語、ノ、詞、ヒ、ツ、メ、ハ、隠、ル、意、
 シコエ玉フトアリ。隠レ玉フナリ。カ、と、

あはもの

命婦カドアルモノニテトアリ。今、カ、と、
 云キノキ、タルモノカドハオ、カ、と、
 子

サメカチナルニナドアルガチト云。詞前ニモ所々出タリ。契云和名ニ
 周易說卦云其於木也為堅多心師說多心謂奈賀吉可、
 邊何ガチト云詞。カ、い、な、で、
 コレニ准ラヘテ知レカ、い、な、で、
 子
 ザル、カ、い、け、お、と、も、カケクモカレコケレトアリ。祝
 ナリ、カ、い、け、お、と、も、カ、い、ハ、コ、ト、バ、ナ、リ、神、祇、ニ、多、多、用、
 フ。ミロノ葉ニカケンモ思レ多トイフ。カ、い、ハ、コ、ト、バ、ナ、リ、
 義、ハ、コ、ト、バ、ノ、約、言、シ、カ、ハ、ニ、モ、シ、カ、ハ、コ、ト、バ、ナ、リ、
 セメテカハサヒミ
 ウレ玉フトアリ
 リ。復奏ノ義ハサレノ及リレシカハスハ復ノ字ナリ。コ、ハ、致、
 仕ノ表ヲ上ルニサメ玉ハヌヲオレカヘレテ。ウレアグル。セメテハレ
 カ
 子、く、づ、す、
 里、ハ、カ、レ、ガ、タ、リ、モ、カ、キ、ク、ツ、ス、ト、ア、リ、ツ、モ、ル、ト、云、
 ヨリ、ク、ツ、ス、ト、イ、ヘ、リ、ツ、モ、ル、物、語、ヲ、一、カ、ヨ、リ、

カ

アリ契云カタケテトハタトヘバ家ヲタヨリニヒサシテ作ルガ如ク彼
殿ノ徳蔭ニヨルヲイヘリ思フトアリテトハ思フトイヒテノ心
かーこくとて 權カレコクモフリ玉ヘルカナト思ヘ
ト折カレコリテ契云此カレコクハコト

ニオソロレク見ユルニテフリ 乙カタフキ侍ル
玉ヘルナリオモヘト云ニテ知ベシカヤたぶふアリイカナルツ

ト疑フナリ 梅カタフキツニ井タマヘルツトアリ契云此様カ
タフク此モノガタリニアマタ所アリ俗ニモ不審ナルアル時頭

ヲカタフケテ案ストイヘリゲニサルナリ如意輪觀音ヲ手
ヲモテ頼ヲ楚ヘ玉フヲ思惟ノ手トイヒ歌ニツラツエツクトヨモ

皆此 カカフキ キヨゲナル人ノバツカヒモノクシクカミサ
類シカ ビテヨミアゲタルトアリ詩ヲヨミシナリ古

雅ナルヲカミサビトイフ詩ヲヨム声ノ古風メキタルナリスヘテカミ
サビナトエサビノサハ助ケ詞ニテビハブリト云ヲ及セバビトトルヲ甲

ヒタリ猶 臣カケテイ
下ニ再出スカ ニモイマハシキ

ナリ カケミクモカシコキナド云ニ同シク
言ノ葉ニ カケテイシモユシキト云ルナリカヘアヤウ

賽ノ字ヲヨニテ報祭ノ義ナリ
又復奏ノ字ヲモカヘリウレト云カヤもくニナ

ラヒタレバカヤスクカヘタリトアリカハ添タレ詞ナリ
埃囊抄ニ欽明紀ノ隨心ノ字ヲヨセタルハ古訓ナルカヤ

こゝろ 細流ニサヤウナルカタノ心ツクシナリ
ト云ク契云片心ナルベシ俗ニモ片心

ニカ、ルナト云フ言ハ片思片寄片目片耳ナドノ類ナリ俗
ニ片意地ナリトイフ此片心ハ同レカルベシカタハ方ヨルノ義

かちまけのらんざう 僅カチマケノラン
ゾウトモノ、レルモ

(カ)

源語抄上ノ事ニ

トアリ 競馬 雞合ナトノ勝負ノ
勝方ノ 乱聲ニハ大鼓ヲウツナリ
もね 夏キヤキガ子ノ姫
君トアリカ子ハ豫ノ

字ノ 羨ニテ凡其モノニセニト 前方ヨリ心アテニナレオクヲカ子テ
ト云フ如ク右ニツナヘニトカ子テアテオク姫君ナリ 伊物ニム

コガ子ト云ビウツホ物語ニ東宮ニ立玉フベキラバ
坊ガ子トモイヘル皆同シ哥ニカ子テミユト云モ同シカ
ねこ

也 是モ豫言ノ 羨ニテカ子テヨリ
言ヒオケルコトバラ云ナリ
か、やの志子

ハレガ、
レキシ 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
カヨワキナド 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
イヘルニ同シ 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト

かんた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
キハミ玉フニトアリカシグウハ人ト我トノ中ヲ多チハナルヲ云今
親子ノ間ニ多クイヘリ 勘當ノ字ヲ用フ 文徳実録ニ本朝

俗為 君父 擯弁 曰 勘當ト云 勘ハ 勘弁トツキテ 物ヲカニカ
サバクヲ云ヒ 當ハ 其罪ニ應シテ 其刑ヲ當ヨリ云フナルベレ 此
ノ 評ニ 御カウジヤソハミレト申シ玉フニトアルカウジモ 勘事ノ
字ノ音ナルベレ 後撰集ニ父母侍リケルスノムマニシレノビテカヨヒ
侍ケルヲキツケテカウジセラレ侍リケルニト 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
アルモ今ト同シクセツカシレルヲ云ヘルナリ 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト

蘭 ナニギナルヲカナトカナレム 評ナリ
詞ノ先ヘイヒ出セリ カタシヤ我心ヒトツ
スノ止ニモアラヌトアリ 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト

かげのけ 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
くごん 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト

かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト

かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト

かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト

かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト

かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト

かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト
かた 音後 竹川ウタヒテカヨレル姿ト

(カ)

かみ 梅 カミナキハノ御手トアリ

ハアルニジキホドナル 第一ノ能書ナリ かご 梅 カミナキハノ御手トアリ

モノニホヒヲ鼻ニテ カギクラブルヲ云ナリ かど 梅 カミナキハノ御手トアリ

トヨメトゴハ 綾威ヲカドヨムカド かひ 梅 カミナキハノ御手トアリ

ニテ キツトシテリツバナルヲ云ナリ かひ 梅 カミナキハノ御手トアリ

クハ 其事ニヨク達 レテナツマヌカニイリ

天地時候 カゴ 負 入 レ ケ キ ヤ ウ ナ レ ド イ ト カ ゴ カ ニ 侍

カトモアリ かすみのたむじ 紫山ノ

ダサカリニテイリモテオハスルニ 霞ノタヌヒモ

オカレウニレトアリ 霞ノカレルケレキヲ云ナリ カ 志

る 賀 カイ レ ロ ナ ド 殿 上 ビ ト 地 下 モ 心 コ ト ナ リ ト 世 人 ニ オ モ ハ レ タ

警固ナリ 垣ニ立テ 此内ニテ 將衣 東ヲ 着スルナリ 契云 此説

オボツカナレヤガテ下ニ 木高キ 紅葉ノ 陰ニ 四十人 カ イ レ ロ イ ヒ

シラス吹タテタルモノ 子トモ ニア ヒ タル 松 風 マ コ ト ノ ミ ヤ オ ロ レ ト

キコエテ吹ス ヒト云 咲花ノ 説ノ 如ク ナ ラ バ 樂 人 ヲ ス ベ テ 垣 代 ト

イフ 敬 武 烈 紀 云 立 歌 場 衆 歌 場 此 云 宇 多 我 岐 統 日 本 紀

云 天平 六年 二月 癸 巳 朔 天 皇 御 朱 雀 門 覽 哥 垣 男 女 二 百 四 十

餘 人 五 品 以 上 有 風 流 者 皆 交 雜 其 中 云 又 称 德 天 皇 由 美

カ

哥垣トイフ歟。今垣代トイヘル是ナルベレ。此此哥垣ノ哥ハウタヒ
モノヲスルヲ云ヒ。垣ハ其ウタヘル人ノ並べラ云ナリ。友垣ナド云垣
ト同、美ナルベレ。日本紀ニ張ノ
字ヲカイレロトヨメリ

かろ、このう、土、さ、
神々レキナリ。オツレク見エワタサレテトアリ。注ニ

ツレムベキサライヘリ。かた、とな、く、あ、れ、こ、る

いへ、
蓬カタモナクアレタル家ノコダチレケクモリノ、
ヤウ丸ヲトアリ。門モ垣モアトカタナクアレタルナリ。カ

み、さ、ひ、
槿カニサビニケル年月ノラウカソヘラレ侍ルニ
トアリ。河海ニ神閑神翁閑雅等ノ字ヲヨメ

リ。契云、万葉ニハ神備トモヨメル。左備ナド假名ニカキテ字
トレ。閑雅ハミヤビヤカトヨミテ別、美ナリ。神閑神翁ノ字ハ不

可用。神サビケルトハ、斎院ナルニツケテイヘル詞ナリ。藤ニ、カ
昔ノイラ神サビケルトモイヘルハ、神ヲ上ニイヘルナリ。カ

へ、
玉ムカレ人モカタヘハカハラズトアリ。カ、ハ、偏、こ、か、べ、ま、る

菜、
河、海ニ壁代又防壁ノ字ヲヨメリ。契云、和名鈔云、縛

壁、以、席、縛、者、於、壁、也。漢語抄云、防壁、多、都、古、毛、然、縛

壁モ防壁モトモニタツコトヨミテ。壁代ニハ異ナル歟。此今、
按スルニ壁ノナキ一ツカベノカハリニスル物。布ナドニテスルニヤカ

一のつじ、
ヨレアルカ、リノホドヲ尋子トアリ。カ、リ、ト、ハ、垣

ナリ。カリノ反リキナレバナリ。コ、ハ、鞠ヲケルコトニイ

ヘリ。後世四本懸トテ、良ニ櫻、巽ニ柳、坤ニ楓、乾ニ松ヲウエ
ルヲ云。按ニカリトハ、何ニテモヨリカ、リ、所トスベキライヘリ。鞠

ヲケルニヨカルヘキ一ツヲ尋テ、カ、ハ、土、こ、る、ひ、
契云、

女レモ四本懸ハ、コトニアラサルベレ。カ、ハ、土、こ、る、ひ、
ヨキ日

カ

ナリトコレモ（註）ニテイヘリ風
モフカズオダヤカナル日ヲ（註）賢トス

不可ニ出行トアリ陰
陽家ノ説ナルベシ

かび （註）サヤカニ卷タルホグトモノカ
ビクサキトアリ（註）徽ナリ湿気

ニテ白キモ
ノ、出ルラ云

人倫 かんだちめ （相）又カシタチベトモ云上達
部ト書ク官ハ宰相位ハ三位

以上ノ公、かうい （註）更衣ト書テ漢書ノ注ニ為休息易
卿ヲ云フ衣之處亦置官人トアリ仁明ノ御時

ヨリ始ルト。
女御ノ次（註）かきたるこゑ （註）掃ホソキ声ノコハ
幼少ノ人ノ声ヲ云

かたらひびと （末）キニラゾナツカレキカタラヒス
トオモヘルトキコレバトアリユノ

人トハ琴ノライヘルナリ。我カ相手ニスルモノナレバアガチニカタラヒ
人トイヘルナリ。柏木ノ猫ヲ人トイヘルガ如キナリ。又（註）遷ニハナレ

相手ヲカタラヒ、
人トイヘル本義ナリカ、たちあるのこゑ（註）梁カ
タチト

バカリニテカタチノ、
ウルハレキトス かたをねむかき人 （大）礼ノ時天
子ヨリ其日

一日カシタ、
ハル隨身（註）かひたふ （註）泣ク時ノ顔付ヲ云
（リ）ト今昔物語ニ顔

ヲ猶シカメテ、貝ヲツクリテ泣ケルトモ
見エタリ。カヒノ義未詳。 （註）かたをらめ

松凡帳ニハタカクレタルカタハラメトアリ。
ツバ目ト同シ。横ガホニテ見ルナリ （註）かたこと乃

こゑ （註）雲カタコトノ声ハイトウツクシウテ
トアリ。三歳ノ鬼ノモノイフサライヘリかんざい

（カ）

おもやう

權 カンザレオモヤウノゴビキコユル人ノオモカ
ゲニゾオホエテメデタケレバトアリ。髪女、顔付ニ

かひほそアて

乙 ヤララカヒホソリテ出玉
道ニトアリ。カタチラチメテ

カタル、カチ、ナア

葉 過シタルモカタナリナルモトアリ。
年ノイキ過ル人モイダワカキ人

トイヘルナリ。ワカキ人ハイニタ
ソロハ又所アル故カタナリト云

かそふえ
紅 カハ笛フ
ツ、カニオレ

声シテトアリ。注ニウツ
笛ト云ハ多チゲエノトシ
かんなごやうれもの

ズカタリスルモノニイヘルハ巫覡ノ多ビハ人ノ身ノ上ノヲオ
シテイフモノナリ。夢ヲ判スル時ナホ以テレカリ。皆**權**テコレ

ヘ云ナリ。カントハ神ニテナギハ和名タハシキ
神慮ヲナゴムルモノナリ。順和名乞盜ノ屬カ
つらひげ

推 髪ノ多クテカツラノ
如クハヘレゲルヲ云ナリ

生植 かひつもの

ナ アドモアサリシテカヒツモノ
モテニ井ルトアリ。貝津物ハアハヒ

ハニグリノカアヒこれ

榎 鳴ノマタ
ゴニテイヘリ。かひ
オナニス
ニカヘリ

カヒノミエヌカナトアリ。カヒハ卵
ニテカヒナクカヒラソタリ
かごとかまよー

むーのこま
約 ツレトワガチキクラス夏ノ日ヲ
カゴトカニシキ虫ノ声哉トアリ。此虫ハ

蝉ヲ
イヘリ

服食 かまねおんぞ

貞 カリギヌヲ云カリ
キヌ。和名ニ布衣ヲカ

(カ)

リギヌトヨニテ、狩衣ト云トアリ。モト狩場ニ用ル服トモ云フ。
 有紋ノ布衣ナリ。一説ニ假衣ノ後ニテ私服ノ名トシ、布衣ノ字
 フヨメリ。朝服ニアラザルノ謂カ、**カバアビ** 紫篝火ト書テ、篝ヲ懸
 テ火ヲ焼ラ云フ。史記ニ夜
 篝火トモイヘリ。カサラケヤカ
 フノミ **カケ** 昔ノ上ニ十三居テカ
 シルカウトヨメリ。カタカユハ今
 玉フシ **カケ** 和名ニ饅ヲカタカユヲ
 ノ飯ナリ。又和名ニ強飯トアリテ。
 蒸タル飯也。昔ハ知ラズ。今ハ粳米ヲ用テ、**カバ** カバ
 グレカ、ゲノ箱ナドトリ出。
 タリトアリ。今ノミダレ箱ナリ。カ^カラ^クー^ク **カ** ケ
 カラトイヘルトテ。必シモ唐ヨリワタルニアラス。其形ニヨリテイ
 ヘルモノ多シ。○カラト云ハ、韓國之漢唐トトラ云ハ、後世ノ

日本紀ニハ漢ヲアマ
 唐ヲモロコシトヨメリ。カ^カ 質扇ヲイヘリ。但
 是ハ凡ヌルクソトテ、御アフギタミフトアリ。注ニカハホリハ常
 ノ扇ナリ。解ハ檜アフキナリト云ヘリ。或説ニカハホリハ今
 未廣ノ一ノ其形ノカ^カ 註コレレハ
 テ、井ノ色玉
 蟬ノ羽ニ似タル名多カ^カ 註ニ昔ハ笠ハキヌニカ
 後ニ紙ニカケリト
 へトカウゴノ相ヲヒトツサレ
 入トアリ。香具ノ箱ヲ云ヘリ。カ^カ 注ニ昔ハ笠ハキヌニカ
 後ニ紙ニカケリト
 カ^カ 注ニ昔ハ笠ハキヌニカ
 後ニ紙ニカケリト
 テヨメリ。モト汗取ノ服ナリレガ。後ニ女童ノウヘニ
 キルモノトナレリ。水干 **カバ** 夏其屋ノ上
 ニテカリ火
 カ^カ 夏其屋ノ上
 ニテカリ火
 ノヤウナルモノナリ。カ^カ 夏其屋ノ上
 ニテカリ火
 フ多ナリ。注ニカガリ火ハ水ノ **カハ** 夏其屋ノ上
 ニテカリ火
 上ナドニテ。遠クタモノトイヘリ。カ^カ 夏其屋ノ上
 ニテカリ火

カ

たびなぶれ 幸十ガレトハダクルニ かぢけわ

た 模人ニ賜フキ又綿ナリ かつぶい 髪搔ノ毛

名ニ操鬢 取カニカキト 御衣ドモカツケサセ玉フトアリ かつぶい ナリ順和

見エテカウガイ、其音便ナリ 名ニ操鬢 かつぶい キモノヲ撮白シ

かざー 葉注ニ老ヲカクス意トイヘリ かつぶい イカ

ナリ。挿頭花ヲカサレトヨメリ又鬢ノ字 ナカモノニカアラニカサレトハ かつぶい 髪刺ノ毛

かぎ人 冠ヲ掛ルハ かなぶふ カナブニ見玉ル

トアリ。契云。カナ文ハナダラカニテカヘリテ ハ目イトイ

トミガタク又句読キモ、心ヲ着ザレハワキガ多シ ハ目イトイ

唐ノ紙ハモロクテ朝夕ノ御宇ナラシニモイカトテカヤ ハ目イトイ

人ヲメシテコトニ仰事玉ヒテ心コトニキヨラニスカセ玉ヘルニ ハ目イトイ

リ。是ニヨリテ見レハ唐土ノ紙ハ昔ヨリモロキニコソノカヤ ハ目イトイ

ノ人ハ紙屋川ノ紙スキナルベシ北野ト平野トノ間ヲ南へ流ル川 ハ目イトイ

ヲ紙屋川ト云此所ニテ紙ヲスキ始タリ ハ目イトイ

トゾ ニウルハシキカニヤガミナドモ見エタリ

補 チヨリカニテ巻ノ次第ニテ

わつと シルセリモトヨリ其部ヲワカダズ

ナレ無破ハ菅万ニアリノワリナクハ 相ワリナクニツハサセ玉フ契云ワリナクノ注

カ

無別 本無破トアリ日本紀ニ無別ノ言ニタク

無別 本無破トアリ日本紀ニ無別ノ言ニタク

無別 本無破トアリ日本紀ニ無別ノ言ニタク

無別 本無破トアリ日本紀ニ無別ノ言ニタク

無別 本無破トアリ日本紀ニ無別ノ言ニタク

ノウキレアリ人深慮ニヤレナヒツダツルハ野ユクサキコモレルナリ。肉ニ
オキテツダツ契云尖苗ト注セルハ何ニ出ル字ニヤ。日本紀下ト見エズ。カ
いアエウワウ 茶人カイルウワウノキサキニナルベキイ
ツキムスメトアリ。契云娑羯羅ハ梵語此

ハ海ト翻スレバカイルウワウハ娑羯羅龍王ナリ。イキハ
ムスメハ万葉ニキヌアヤノ中ニツメルイハヒ子トヨメルニ同シカ
アエモトカノとドカクハひめのと

アエモトカノとドカクハひめのと

れおたア 蓬磨守貌姑射の首補を姫ノ物語トアリ。イ
ツレモ古キ物語文ノ名ナリ。契云伊勢集ニカラキ

ガ道タツ子ワビテ。フセルラトコヤヘトツル道ハ夢ニモトフアレヌル
ニタニアフト見エ子ハウツボ物語櫻トニカラモリガ宿ヲ見ニトテ子
コニメラツケンコソカタ人カナカ名ビメノ

物語ハ竹取モカタリノコナルベシ。カールカこあ

ア 玉契云搔首ト詩ニモ作
レリ心ユカ又時ノワザナリ ろアこれつ 梅契
云瑠璃

杯ナリ和名云孫彌切句云。甄時戦及俗語云。都岐乃波水
器縁謂可邊也。甄ハツキノハタニテ。其注ニ器縁トアレバ器

ラツキトキ 葉ナドテウ
テ玉ヒケントアリ。河海ニ人ゴトニ老

ヨムキニヤ テ玉ヒケントアリ。河海ニ人ゴトニ老

ラカト心得タル放サニハアラズオビレタルヨレヲ子ヒレテナドイ
フヤウナリ。契云。只老ラカナルベシ。此物語ニモアマタアル所老ラ

カニテハ叶ヒ子ビレタルノ准ラヘニテハ叶ハ又所多カルベシ。竹取物語
ニカクヤ姫ヲ恋タル五人ノ人々ニ竹取翁出テ石針ナドカ

ライヒケル時。御子タチ上達部キテ。オイラカニアタリヨリ。女ニ
ナアリキソトヤノ多ハヌトイヒテ。ウシビテ皆帰ヌトアリ。故以ト
カキテ。櫻比トカズ。老ラカノ心ヲ用フベシ。
假名ヲ多サヌ故。此タ多トノヨヒ多シ

補

源語梯上 終

源語梯上 六十一終

